

令和3年度決算特別委員会資料

資料請求番号24

教育委員会事務局学校教育課

いじめ、不登校の実態調査報告書。(過去3年分)

表題の件について、下記のとおり提出します。

記

「いじめ調査」の結果について(令和元年度～令和3年度)
月報「はぐくみ」(令和元年度～令和3年度)

「いじめ調査」の結果について（令和元
年度～令和３年度）

令和元年度「いじめ調査」(1回目)の結果について

1 アンケート調査の状況

	小学校		中学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	10	0	5	0
無記名式	0	0	0	0

2 認知・未解消・解消件数

	調査数	今回の調査				
		認知件数	未解消			解消
			A 要指導	B 要支援	C 見守り	
A		48	14	4	30	0
B		55	0	9	34	12
C		119	36	4	79	0
D		68	2	16	50	0
E		155	0	0	155	0
F		95	12	32	49	2
G		72	2	21	49	0
H		57	15	3	39	0
I		115	29	18	68	0
J		72	0	0	71	1
小学合計	3,651	856	110	107	624	15
K		22	0	10	12	0
L		11	1	0	10	0
M		20	4	3	13	0
N		21	13	1	7	0
O		17	6	0	10	1
中学合計	1,774	91	24	14	52	1

3 いじめの態様

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
小学校	469	199	279	140	19	48	87	18	0
中学校	73	11	10	1	1	4	4	1	0

- ① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

令和元年度 「いじめ調査」(1回目)の結果について

＜令和元年度1学期末(6月～7月)実施＞

【認知】 他の児童生徒からの言動等により、心身の苦痛を感じたもの
(いやな思いをしたもの)

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
(調査数)	582人	592人	620人	622人	643人	592人	3651人	594人	593人	587人	1774人
認知件数	160	171	166	156	127	76	856	53	24	14	91
(発生率)	27.4%	28.8%	26.7%	25.0%	19.7%	12.8%	23.4%	8.9%	4.0%	2.3%	5.1%

平成30年度
(1回目)

↑
973
26.3%

↑
81
4.4%

		小学生	中学生
いじめの態様	① 冷やかしたりからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	469 (566)	73 (59)
	② 仲間はずれ、集団による無視をされる	199 (213)	11 (16)
	③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	279 (312)	10 (15)
	④ ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする	140 (194)	1 (0)
	⑤ 金品をたかられる	19 (49)	1 (1)
	⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	48 (81)	4 (1)
	⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられたり、されたりする	87 (143)	4 (5)
	⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる	18 (23)	1 (4)
	⑨ その他	0 (55)	0 (14)

()の数字は昨年度

【未解消】

- A(要指導) いじめに係る行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 B(要支援) いじめに係る行為は止んでいるが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 C(見守り) いじめに係る行為が止んでおり、被害児童生徒も心身の苦痛を感じていないが、行為が止んでから相当の期間が経っていないもの
 (相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)。

	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
A 要指導	12	21	11	41	11	14	110	16	4	4	24
B 要支援	12	32	29	11	13	10	107	9	3	2	14
C 見守り	136	107	125	101	103	52	624	28	16	8	52

【解消】 いじめに係る行為が相当の期間止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
解消件数	0	11	1	3	0	0	15	0	1	0	1

【重大事態】 いじめにより、児童生徒の生命、心身・財産に重大な被害が生じたもの
又は児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされているもの

該当件数なし

令和元年度「いじめ調査」(2回目)の結果について

1 アンケート調査の状況

(単位:校)

	小学校		中学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	9	1	5	0
無記名式	0	0	0	0

2 認知・未解消・解消件数

(単位:件)

	調査数	今回の調査					第1回目の追跡調査				
		認知件数	未解消			解消	認知件数	未解消			解消
			A 要指導	B 要支援	C 見守り			A 要指導	B 要支援	C 見守り	
A		64	13	14	35	2	48	0	1	0	47
B		51	4	16	25	6	55	0	1	5	49
C		108	17	0	43	48	119	0	0	6	113
D		86	0	2	84	0	68	0	0	1	67
E		138	0	1	137	0	155	0	1	0	154
F		107	7	12	81	7	95	0	4	1	90
G		54	0	20	34	0	72	0	0	0	72
H		43	17	3	23	0	57	4	0	0	53
I		137	40	19	67	11	115	0	1	0	114
J		46	0	0	46	0	72	0	0	0	72
小学合計	3,644	834	98	87	575	74	856	4	8	13	831
K		11	0	6	5	0	22	0	1	7	14
L		8	0	0	8	0	11	0	0	1	10
M		23	5	11	7	0	20	0	0	4	16
N		9	7	1	0	1	21	2	0	0	19
O		15	5	0	8	2	17	4	0	0	13
中学合計	1,762	66	17	18	28	3	91	6	1	12	72

3 いじめの態様

(単位:件)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
小学校	471	163	217	125	14	57	97	35	0	1,179
中学校	60	13	10	3	0	4	1	2	0	93

- ① 冷やかしたりからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

令和元年度 「いじめ調査」(2回目)の結果について

＜令和元年度2学期末(11月～12月)実施＞

【認知】 他の児童生徒からの言動等により、心身の苦痛を感じたもの(いやな思いをしたもの)

学年 (調査数)	小1年 582人	小2年 590人	小3年 620人	小4年 619人	小5年 642人	小6年 591人	小合計 3644人	中1年 591人	中2年 591人	中3年 580人	中合計 1762人
認知件数 (発生率)	152 26.1%	193 32.7%	185 29.8%	120 19.4%	104 16.2%	80 13.5%	834 22.9%	38 6.4%	19 3.2%	9 1.6%	66 3.7%

令和元年度
(1回目) **856**
23.4%

91
5.1%

		小学生	中学生
い じ め の 態 様	① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	471(498)	60(38)
	② 仲間はずれ、集団による無視をされる	163(202)	13(14)
	③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	217(258)	10(9)
	④ ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする	125(155)	3(3)
	⑤ 金品をたかられる	14(19)	0(0)
	⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	57(55)	4(3)
	⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられたり、されたりする	97(88)	1(4)
	⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる	35(13)	2(3)
	⑨ その他	0(50)	0(10)

()の数字は昨年度

【未解消】

- A(要指導) いじめに係る行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 B(要支援) いじめに係る行為は止んでいるが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 C(見守り) いじめに係る行為が止んでおり、被害児童生徒も心身の苦痛を感じていないが、行為が止んでから相当の期間が経っていないもの
 (相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)。

	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
A 要指導	11	8	28	33	9	9	98	13	0	4	17
B 要支援	22	19	21	9	10	6	87	13	5	0	18
C 見守り	103	163	104	72	80	53	575	11	12	5	28

【解消】 いじめに係る行為が相当の期間止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
解消件数	16	3	32	6	5	12	74	1	2	0	3

【重大事態】 いじめにより、児童生徒の生命、心身・財産に重大な被害が生じたもの
 又は児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされているもの

該当件数なし

3 いじめ調査(1回目)の追跡結果(アンケート実施 R1.7 追跡調査・聞き取り R1.12)

学年 (調査数)	小1年 582人	小2年 592人	小3年 620人	小4年 622人	小5年 643人	小6年 592人	小合計 3651人	中1年 594人	中2年 593人	中3年 587人	中合計 1774人
認知件数 (発生率)	160 27.5%	171 28.9%	166 26.8%	156 25.1%	127 19.8%	76 12.8%	856 23.4%	53 8.9%	24 4.0%	14 2.4%	91 5.1%
A 要指導	0	0	4	0	0	0	4	6	0	0	6
B 要支援	1	0	1	0	4	2	8	0	1	0	1
C 見守り	0	7	3	2	1	0	13	5	2	5	12
解消件数 (解消率)	159 99.4%	164 95.9%	158 95.2%	154 98.7%	122 96.1%	74 97.4%	831 97.1%	42 79.2%	21 87.5%	9 64.3%	72 79.1%

令和２年度「いじめ調査」（１回目）の結果について

１ アンケート調査の状況

	小学校		中学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	10	0	5	0
無記名式	0	0	0	0

２ 認知・未解消・解消件数

	調査数	今回の調査			
		認知件数	未解消		
			A 要指導	B 要支援	C 見守り
A		56			
B		32			
C		72			
D		37			
E		120			
F		70			
G		32			
H		50			
I		128			
J		42			
小学合計	3,624	639			
K		10			
L		6			
M		15			
N		8			
O		6			
中学合計	1,747	45			

３ いじめの態様

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
小学校	323	121	168	82	8	26	42	11	0
中学校	29	6	8	1	0	0	4	6	0

- ① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

令和2年度 「いじめ調査」(1回目)の結果について

＜令和2年度1学期末(6月～7月)実施＞

【認知】 他の児童生徒からの言動等により、心身の苦痛を感じたもの
(いやな思いをしたもの)

学年 (調査数)	小1年 554人	小2年 584人	小3年 595人	小4年 624人	小5年 626人	小6年 641人	小合計 3,624人	中1年 558人	中2年 596人	中3年 593人	中合計 1,747人
認知件数 (発生率)	115 20.8%	142 24.3%	121 20.3%	126 20.2%	62 9.9%	73 11.4%	639 17.6%	25 4.5%	15 2.5%	5 0.8%	45 2.6%

令和元年度
(1回目)

856
23.4%

91
5.1%

		小学生	中学生
い じ め の 態 様	① 冷やかしからい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	323 (469)	29 (73)
	② 仲間はずれ、集団による無視をされる	121 (199)	6 (11)
	③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	168 (279)	8 (10)
	④ ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする	82 (140)	1 (1)
	⑤ 金品をたかられる	8 (19)	0 (1)
	⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	26 (48)	0 (4)
	⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられたり、されたりする	42 (87)	4 (4)
	⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる	11 (18)	6 (1)
	⑨ その他	0 (0)	0 (0)

()の数字は昨年度

【未解消】 ※京都府教育委員会から臨時休業に伴い判断できないため調査不要との指示

- A(要指導) いじめに係る行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 B(要支援) いじめに係る行為は止んでいるが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 C(見守り) いじめに係る行為が止んでおり、被害児童生徒も心身の苦痛を感じていないが、行為が止んでから相当の期間が経っていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)。

	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
A 要指導											
B 要支援											
C 見守り											

【解消】 いじめに係る行為が相当の期間止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
解消件数											

【重大事態】 いじめにより、児童生徒の生命、心身・財産に重大な被害が生じたもの
又は児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされているもの

該当件数なし

令和2年度「いじめ調査」(2回目)の結果について

1 アンケート調査の状況 (単位:校)

	小学校		中学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	10	0	5	0
無記名式	0	0	0	0

2 認知・未解消・解消件数 (単位:件)

	調査数	今回の調査					第1回目の追跡調査				
		認知件数	未解消			解消	認知件数	未解消			解消
			A 要指導	B 要支援	C 見守り			A 要指導	B 要支援	C 見守り	
A		48	13	5	30	0	56	0	0	0	56
B		34	1	7	11	15	32	0	0	0	32
C		82	16	8	53	5	72	1	2	0	69
D		31	0	3	28	0	37	0	0	1	36
E		120	0	0	120	0	120	0	0	0	120
F		69	18	8	43	0	70	5	0	3	62
G		51	0	0	51	0	32	0	0	3	29
H		47	0	0	47	0	50	0	3	0	47
I		111	32	18	59	2	128	20	13	20	75
J		30	0	0	30	0	42	0	0	0	42
小学合計	3,626	623	80	49	472	22	639	26	18	27	568
K		11	0	3	5	3	10	0	0	0	10
L		11	3	3	4	1	6	0	0	0	6
M		25	9	7	9	0	15	3	0	2	10
N		19	16	1	2	0	8	1	0	0	7
O		8	3	1	4	0	6	1	1	0	4
中学合計	1,752	74	31	15	24	4	45	5	1	2	37

3 いじめの態様 (単位:件)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
小学校	344	144	175	84	16	32	82	25	0	902
中学校	60	11	15	3	1	1	3	2	0	96

- ① 冷やかしたりからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

令和2年度「いじめ調査」(2回目)の結果について

＜令和2年度2学期末(11月～12月)実施＞

1 いじめ調査(2回目)の調査結果

【言忍矢口】 他の児童生徒からの言動等により、心身の苦痛を感じたもの(いやな思いをしたもの)

学年 (調査数)	小1年 554人	小2年 584人	小3年 591人	小4年 626人	小5年 629人	小6年 642人	小合計 3,626人	中1年 556人	中2年 598人	中3年 598人	中合計 1,752人
認知件数	101	152	106	127	72	65	623	40	25	9	74
(発生率)	18.2%	26.0%	17.9%	20.3%	11.4%	10.1%	17.2%	7.2%	4.2%	1.5%	4.2%

令和2年度
(1回目)

639
17.6%

45
2.6%

		小学生	中学生
い じ め の 態 様	① 冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	344(471)	60(60)
	② 仲間はずれ、集団による無視をされる	144(163)	11(13)
	③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	175(217)	15(10)
	④ ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする	84(125)	3(3)
	⑤ 金品をたかられる	16(14)	1(0)
	⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	32(57)	1(4)
	⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられたり、されたりする	82(97)	3(1)
	⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる	25(35)	2(2)
	⑨ その他	0(0)	0(0)

()の数字は昨年度

【未解消】

- A(要指導) いじめに係る行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 B(要支援) いじめに係る行為は止んでいるが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 C(見守り) いじめに係る行為が止んでおり、被害児童生徒も心身の苦痛を感じていないが、行為が止んでから相当の期間が経っていないもの
 (相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)。

	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
A 要指導	9	12	20	17	12	10	80	16	14	1	31
B 要支援	3	5	8	12	5	16	49	5	9	1	15
C 見守り	89	120	78	91	55	39	472	16	2	6	24

【解消】 いじめに係る行為が相当の期間止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
解消件数	0	15	0	7	0	0	22	3	0	1	4

【重大事態】 いじめにより、児童生徒の生命、心身・財産に重大な被害が生じたもの又は児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされているもの

該当件数なし

2 いじめ調査(1回目)の追跡結果(アンケート実施 R2.7 追跡調査・聞き取り R2.12)

学年 (調査数)	小1年 554人	小2年 584人	小3年 595人	小4年 624人	小5年 626人	小6年 641人	小合計 3,624人	中1年 558人	中2年 596人	中3年 593人	中合計 1,747人
認知件数	115	142	121	126	62	73	639	25	15	5	45
(発生率)	20.8%	24.3%	20.3%	20.2%	9.9%	11.4%	17.6%	4.5%	2.5%	0.8%	2.6%
A 要指導	2	5	5	9	2	3	26	3	2	0	5
B 要支援	5	1	0	11	1	0	18	1	0	0	1
C 見守り	0	6	2	9	2	8	27	1	1	0	2
解消件数	108	130	114	97	57	62	568	20	12	5	37
(解消率)	93.9%	91.5%	94.2%	77.0%	91.9%	84.9%	88.9%	80.0%	80.0%	100%	82.2%

令和3年度「いじめ調査」(1回目)の結果について

1 アンケート調査の状況

	小学校		中学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	10	0	5	0
無記名式	0	0	0	0

2 認知・未解消・解消件数

	調査数(人)	今回の調査				
		認知件数 (件)	未解消			解消
			A 黙導	B 黙援	C 見守り	
A		72	24	22	26	0
B		40	17	6	8	9
C		96	45	27	24	0
D		61	8	4	49	0
E		86	0	0	86	0
F		71	36	16	19	0
G		42	0	0	42	0
H		56	0	0	56	0
I		83	8	8	60	7
J		57	27	9	21	0
小学合計	3,550	664	165	92	391	16
K		10	0	1	9	0
L		11	6	0	5	0
M		21	0	7	14	0
N		13	0	3	10	0
O		9	1	4	3	1
中学合計	1,757	64	7	15	41	1

3 いじめの態様

(単位: 件)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
小学校	421	118	185	95	10	27	74	21	0
中学校	41	11	14	4	0	2	5	3	0

- ① 冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

令和3年度 「いじめ調査」(1回目)の結果について

＜令和3年度1学期末(6月～7月)実施＞

【認知】 他の児童生徒からの言動等により、心身の苦痛を感じたもの
(いやな思いをしたもの)

学年 (調査数)	小1年 558人	小2年 562人	小3年 585人	小4年 589人	小5年 631人	小6年 625人	小合計 3,550人	中1年 607人	中2年 558人	中3年 592人	中合計 1,757人
認知件数	91	136	136	98	141	62	664	36	20	8	64
(発生率)	16.3%	24.2%	23.2%	16.6%	22.3%	9.9%	18.7%	5.9%	3.6%	1.4%	3.6%

令和2年度

(1回目)

639

17.6%

45

2.6%

		小学生	中学生
いじめの 態 様	① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	421 (323)	41 (29)
	② 仲間はずれ、集団による無視をされる	118 (121)	11 (6)
	③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	185 (168)	14 (8)
	④ ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする	95 (82)	4 (1)
	⑤ 金品をたかられる	10 (8)	0 (0)
	⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	27 (26)	2 (0)
	⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられたり、されたりする	74 (42)	5 (4)
	⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる	21 (11)	3 (6)
	⑨ その他	0 (0)	0 (0)

()の数字は昨年度

【未解消】

- A (要指導) いじめに係る行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 B (要支援) いじめに係る行為は止んでいるが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 C (見守り) いじめに係る行為が止んでおり、被害児童生徒も心身の苦痛を感じていないが、行為が止んでから相当の期間が経っていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)。

	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
A 要指導	9	41	27	31	38	19	165	4	3	0	7
B 要支援	21	9	21	14	21	6	92	4	9	2	15
C 見守り	61	79	79	53	82	37	391	27	8	6	41

【解消】 いじめに係る行為が相当の期間止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
解消件数	0	7	9	0	0	0	16	1	0	0	1

【重大事態】 いじめにより、児童生徒の生命、心身・財産に重大な被害が生じたもの
 又は児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされているもの

該当件数なし

令和3年度「いじめ調査」(2回目)の結果について

1 アンケート調査の状況 (単位:校)

	小学校		中学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	10	0	5	0
無記名式	0	0	0	0

2 認知・未解消・解消件数 (単位:件)

	調査数	今回の調査					第1回目の追跡調査				
		認知件数	未解消			解消	認知件数	未解消			解消
			A 要指導	B 要支援	C 見守り			A 要指導	B 要支援	C 見守り	
A		55	19	10	26	0	72	0	0	0	72
B		41	25	3	5	8	40	2	1	2	35
C		87	45	27	15	0	96	1	0	0	95
D		41	3	4	34	0	61	1	0	1	59
E		74	0	0	74	0	86	0	0	0	86
F		70	12	6	52	0	71	7	0	11	53
G		48	3	2	32	11	42	0	0	2	40
H		52	0	0	52	0	56	0	0	0	56
I		127	42	19	62	4	83	8	3	6	66
J		31	18	4	9	0	57	4	0	0	53
小学合計	3,545	626	167	75	361	23	664	23	4	22	615
K		5	0	0	5	0	10	0	0	0	10
L		6	0	0	5	1	11	0	0	1	10
M		32	7	4	20	1	21	1	2	0	18
N		6	0	1	5	0	13	0	0	0	13
O		3	2	0	1	0	9	0	0	0	9
中学合計	1,742	52	9	5	36	2	64	1	2	1	60

3 いじめの態様 (単位:件)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
小学校	361	108	200	98	15	27	62	19	0	890
中学校	31	5	11	3	0	0	3	4	0	57

- ① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

2 令和3年度「いじめ調査」(2回目)の結果について

＜令和3年度2学期末(11月～12月)実施＞

1 いじめ調査(2回目)の調査結果

【**認知**】 他の児童生徒からの言動等により、心身の苦痛を感じたもの(いやな思いをしたもの)

学年 (調査数)	小1年 559人	小2年 560人	小3年 584人	小4年 588人	小5年 633人	小6年 621人	小合計 3,545人	中1年 599人	中2年 549人	中3年 594人	中合計 1,742人
認知件数 (発生率)	121 21.6%	131 23.4%	129 22.1%	80 13.6%	119 18.8%	46 7.4%	626 17.7%	22 3.7%	24 4.4%	6 1.0%	52 3.0%

令和3年度
(1回目)

664
18.7%

64
3.7%

いじめの 態 様	小学生		中学生	
	件数	割合	件数	割合
	① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	361(34)	31(6)	
	② 仲間はずれ、集団による無視をされる	108(14)	5(1)	
	③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	200(17)	11(1)	
	④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	98(8)	3(3)	
	⑤ 金品をたかられる	15(1)	0(0)	
	⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	27(3)	0(0)	
	⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられたり、されたりする	62(8)	3(3)	
	⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる	19(2)	4(2)	
	⑨ その他	0(0)	0(0)	

()の数字は昨年度

【未解消】

- A(要指導) いじめに係る行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 B(要支援) いじめに係る行為は止んでいるが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 C(見守り) いじめに係る行為が止んでおり、被害児童生徒も心身の苦痛を感じていないが、行為が止んでから相当の期間が経っていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)。

	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
A 要指導	26	29	31	27	40	14	167	3	4	2	9
B 要支援	17	4	22	16	10	6	75	1	4	0	5
C 見守り	77	89	70	37	63	25	361	18	14	4	36

【**解消**】 いじめに係る行為が相当の期間止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
解消件数	1	9	6	0	6	1	23	0	2	0	2

【**重大事態**】 いじめにより、児童生徒の生命、心身・財産に重大な被害が生じたもの又は児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされているもの

該当件数なし

2 いじめ調査(1回目)の追跡結果(アンケート実施 R3.7 追跡調査・聞き取り R3.12)

学年 (調査数)	小1年 559人	小2年 560人	小3年 584人	小4年 588人	小5年 633人	小6年 621人	小合計 3,545人	中1年 599人	中2年 549人	中3年 594人	中合計 1,742人
認知件数 (発生率)	91 16.3%	136 24.3%	136 23.3%	98 16.7%	141 22.3%	62 10.0%	664 18.7%	36 6.0%	20 3.6%	8 1.3%	64 3.7%
A 要指導	2	1	8	2	9	1	23	1	0	0	1
B 要支援	3	1	0	0	0	0	4	0	2	0	2
C 見守り	2	1	8	4	5	2	22	0	1	0	1
解消件数 (解消率)	84 92.3%	133 97.8%	120 88.2%	92 93.9%	127 90.1%	59 95.2%	615 92.6%	35 97.2%	17 85.0%	8 100%	60 93.8%

月報「はぐくみ」（令和元年度～令和３年
度）

はぐくみ

第395号

城陽市教育委員会 学校教育課

4月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（平成31年4月1日～4月30日）

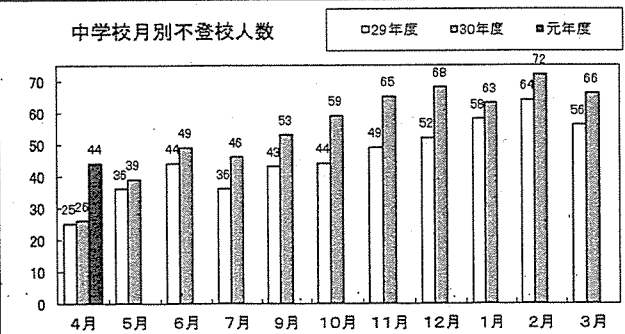
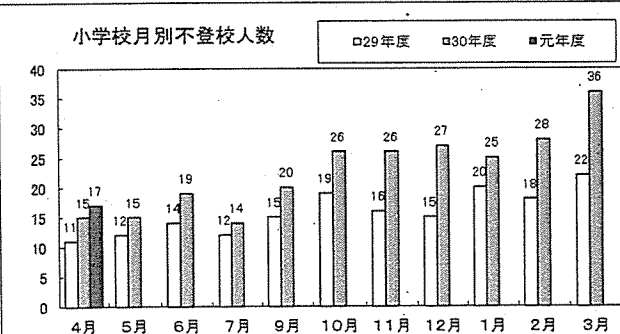
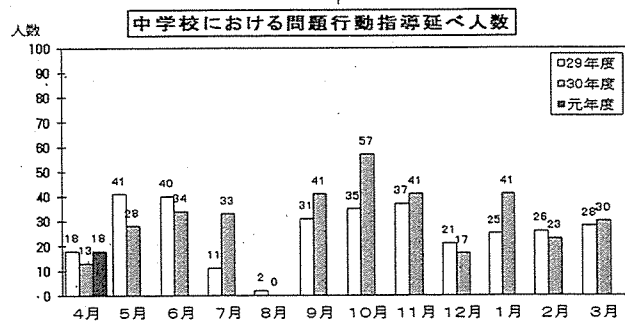
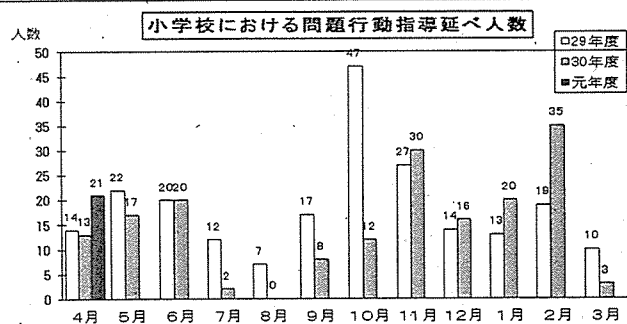
問題行動 件数 校種	人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20	21
		暴力			器物損壊	恐 か つ	窃 万 引 き	盗 金銭・物 品 バイク自 転	金銭の持 ち出し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 偽・不 健全	無 断外泊・ 家出	わいせつ な行為	不純異性 交遊	そ の 他	不 登 校		その他 被害等	い じ め	
		生徒	対 教師	対 人																			
		間																					
小学 校	件数	6					2			1									3	12	17		1
	男	5																	3	8	9		5
	女	1					3			2										6	8		2
中学 校	件数	2														1			8	11	44		
	男	3														1			13	17	29		
	女																		1	1	15		

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1		1	3	8	13		14	3	17
女			4	1	1	2	8			1	1
計		1	4	2	4	10	21		14	4	18

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		2		2	2	3	9	6	10	13	29
女				1	3	4	8	4	8	3	15
計		2		3	5	7	17	10	18	16	44



事象の概要

【小学校】

- ①休み時間、下級生に対して首を掴んで羽交い締めにした。
- ②下校後、近隣のコンビニで万引きをした。

【学校より】…（6年男1名）
【学校より】…（3年女2名）

【中学校】

- ①授業中、隣の生徒をからかい相手を殴る。
- ②休み時間、トイレで用を足しているところを後ろから蹴る。

【学校より】…（2年男1名）
【学校より】…（2年男1名）

4月の問題行動について、昨年度に比べ、指導人数は小学校では同人数、中学校では増加しました。小学校では、自分の思い通りにならなかったことに対する暴力事象や万引き行為といった事象が起っています。また、親の財布からお金を抜き取りスーパーでお菓子を買うという金銭の持ち出し事象も起っています。中学校でも、ふざけやからかいの中からの生徒間トラブルや化粧や染髪をして登校するといった等の「その他」事象が起っています。

5月に入ると例年、生徒指導上の問題事象が顕在化する傾向があります。特に些細なことからの児童生徒間トラブル等が多く起こる時でもあります。児童生徒の状況を把握し、教職員間の情報の共有を密にし、早期発見・早期対応に努めていただきますようによりしくお願いします。

不登校については、昨年度に比べて、小・中学校ともに少し増加しています。特に、小学6年生、中学3年生が新しい学年になり頑張って登校し、欠席日数を減らすことができていたものの昨年度より継続的な児童生徒が多い状況です。それぞれの課題に応じて、保護者との連携と交流を深め、個々に身近な目標を定め、児童生徒が少しずつでも頑張っていけるよう学校として組織的な対応をよりお願いいたします。

はぐくみ

第396号

城陽市教育委員会 学校教育課

5月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和元年5月1日～5月31日）

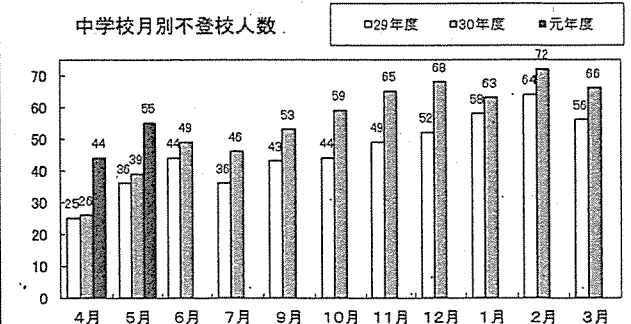
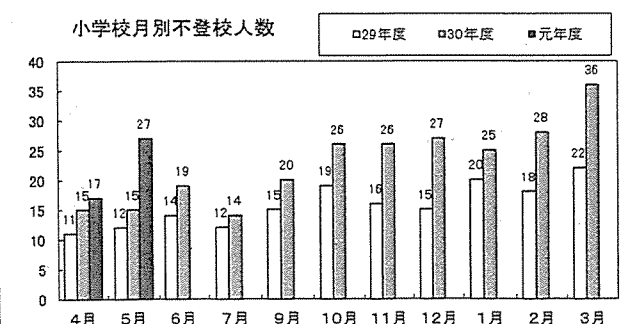
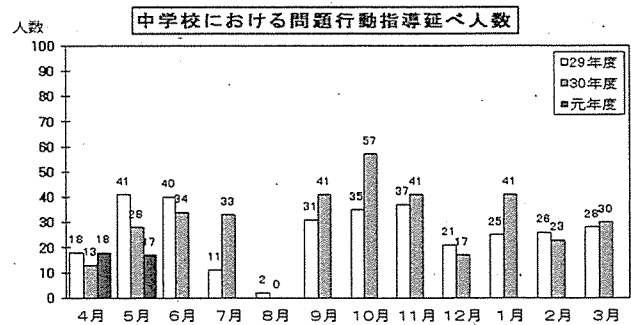
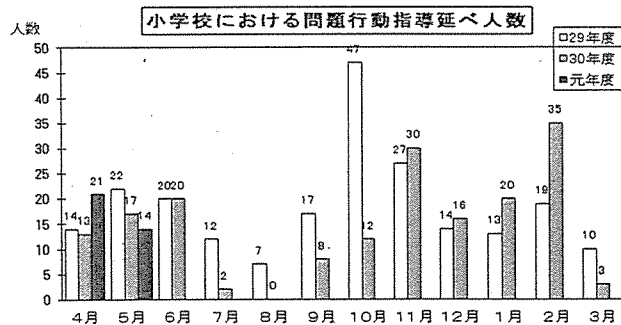
問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
小	1			1					1									8	11	27	
学	1			1					1									10	13	12	
校																		1	1	15	
中	1	1													1			10	13	55	
学	1														1			12	14	38	
校		1																2	3	17	

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			2	6	3	2	13	1	7	6	14
女			1				1		1	2	3
計			3	6	3	2	14	1	8	8	17

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1		6	3	2	12	9	10	19	38
女	2	1		3	3	6	15	3	9	5	17
計	2	2		9	6	8	27	12	19	24	55



事象の概要

【小学校】

- ①以前より、相手児童に対して叩いたり蹴ったりしていた。
②耳鼻科検診の順番待ちでイライラが募りドアを叩きガラスが割れる。

【学校より】…（5年男1名）
【学校より】…（6年男1名）

【中学校】

- ①給食時間、他の生徒からからかわれ相手の首付近を叩く。
②修学旅行中、化粧を落とすように指導された際、指導に従えず教員の足を蹴る。

【学校より】…（1年男1名）
【学校より】…（3年女1名）

5月の問題行動について、小学校では、4月に比べ、指導件数・人数とも減少しました。中学校では、指導件数・人数とも微減しています。小学校では、家のお金を勝手に持ち出しコンビニでお菓子を買ったことでの「金銭の持出し」や些細なことからの「児童間トラブル」が起きました。中学校では、テストの改ざんや生徒同士の「生徒間トラブル」がありました。例年5月・6月は学校、学級にも慣れ、問題事象が大きく増える傾向があります。児童生徒の状況を的確に把握し、教職員間で情報を共有し、学校組織全体での共通理解とした上での指導と支援をよろしくお願いします。

不登校については、小・中学校で4月に比べて増加しています。長いゴールデンウィークがあり、梅雨に入り、またこれから暑い日も多くなり、新学期から緊張感をもって頑張ってきたところで少し疲れも出てくる頃でもあります。本人と保護者とともに見通しをもった目標をいっしょに考え、本人が頑張ろうと意欲をもてるよう支援をよろしくお願いします。

小中学校では、5月から6月にかけて、「修学旅行」「校外学習」「職場体験」「陸上交歓記録会」等の体験学習が各校で実施されています。学校行事を終えた後の子ども達の成長や様子、そして、それぞれの取組での成果と課題を明らかにし、お互いに更に高めあえるような一層の工夫と継続的な支援をよろしくお願いします。

はぐくみ

第397号

城陽市教育委員会 学校教育課

6月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和元年6月1日～6月30日）

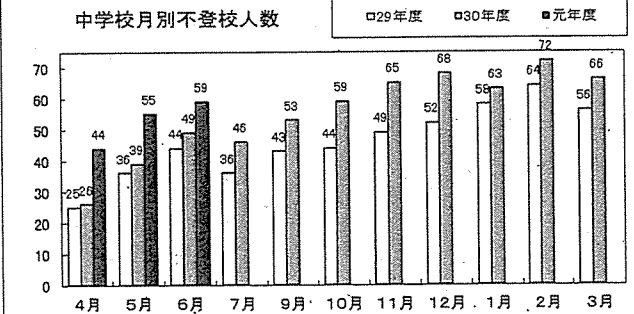
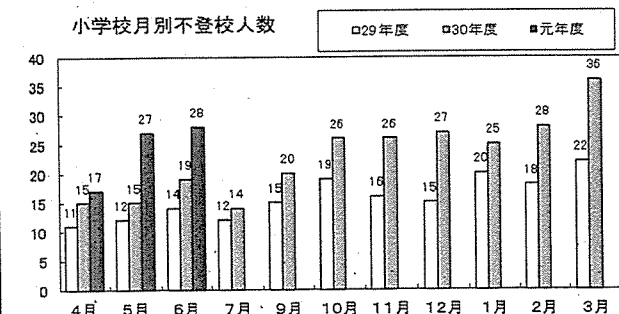
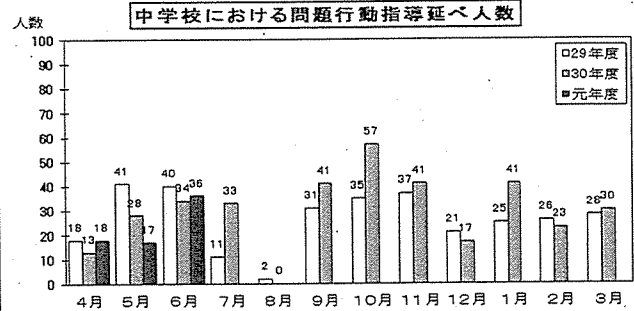
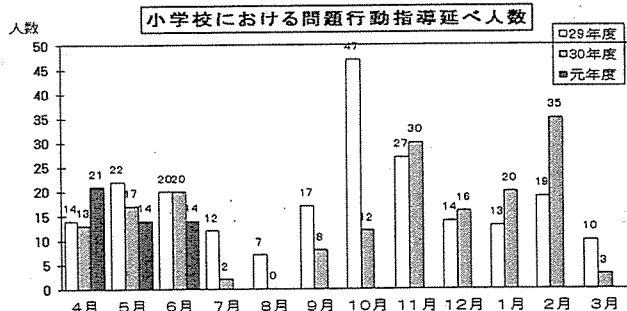
問題行動 件数 校種	1 暴力 生徒 対教師 対人	2 対教師 対人	3 器物 損壊	4 器物 損壊	5 器物 損壊	6 万引き	7 金銭・物品 の盗み	8 金銭・物品 の盗み	9 金銭の持ち出し	10 金銭の持ち出し	11 火遊び	12 喫煙	13 飲酒	14 薬物乱用	15 悪質・不健全 な行為	16 無断外泊・家出	17 わいせつな行為	18 不純異性交遊	19 その他 被被害等	20 その他 被被害等	21 いじめ
小学校	2		1												1				6	10	
男	3		1												2				6	12	
女																			2	2	
中学校	1																		21	22	
男	1																		22	23	
女																			13	13	

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	4	2		3	2	1	12	6	10	7	23
女		1			1		2	11		2	13
計	4	3		3	3	1	14	17	10	9	36

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		2		7	3	5	17	12	12	14	38
女	2	1			2	6	11	4	11	6	21
計	2	3		7	5	11	28	16	23	20	59



事象の概要

【小学校】

- ①昼休み終わり、友達が投げたボールが当たり怒って相手の顔を叩く。
- ②隣のクラスの窓ガラスを何度も叩き、割ってしまう。

【学校より】…（6年男1名）
【学校より】…（1年男1名）

【中学校】

- ①掃除をさぼっていた生徒に対して腹が立ちその生徒を叩く。
- ②LINEで女子生徒に対して性的なメッセージを送る。
- ③化粧をして登校する。

【学校より】…（3年男1名）
【学校より】…（2年男1名）
【学校より】…（3年女1名）

6月の問題行動について、5月に比べ、小学校での指導件数は変わらなかったものの人数は少し増加しました。線路の上に小石を置くといった「イタズラ」事象や周りから注意されたことに腹を立てての「児童間トラブル」等の男子児童による問題事象が起きました。中学校においては、指導件数が増加しました。掃除をさぼっていた生徒に対して腹が立ちその生徒を叩くという「生徒間暴力」事象や「その他」事象としてテストのカンニングや髪の毛を染髪して登校するといった事象が起きました。特に中学2年生の事象が多く起きました。普段からの人間関係や心身の状態等を丁寧にみていく必要があります。

不登校については、5月に比べ、小中学校ともに増加しました。特に、中学校においては、年度当初頑張ってきた生徒の欠席日数が増えてきている状況です。これまでの頑張りが継続できるよう保護者と連携・交流を密にとりながら励ましや支援をよろしくお願いします。

一学期も終わります。児童生徒が今学期の自分自身を振り返り、頑張れたことやできたこと、そして課題についてももしっかり考え、夏休みを有意義に過ごせるように指導・支援をよろしくお願いします。また、児童生徒が事件・事故に巻き込まれることがないように再度安全指導についてもよろしくお願いします。

はぐくみ

第398号

城陽市教育委員会 学校教育課

7月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和元年7月1日～7月31日）

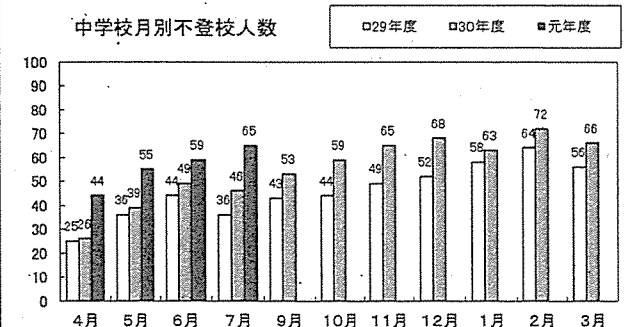
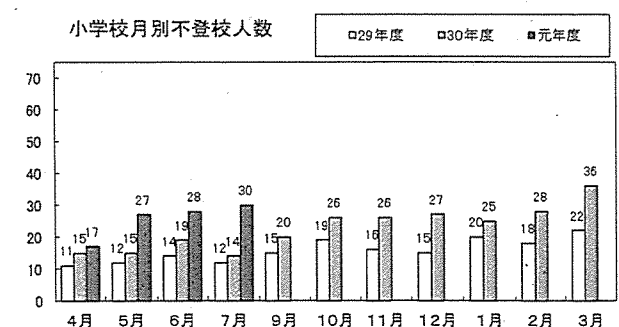
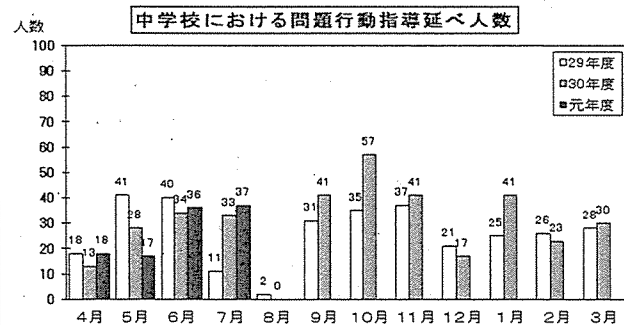
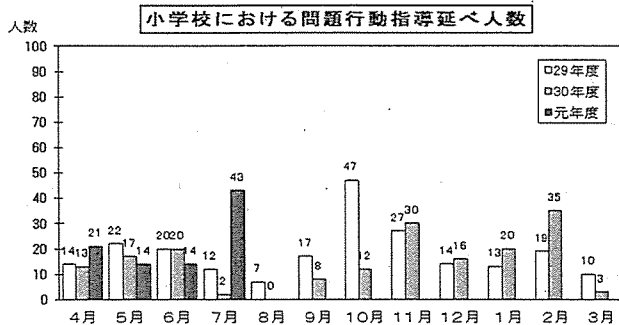
問題行動 件数 校種	人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
		暴力 生徒 対教師 対人	暴力 対教師 対人	暴力 対教師 対人	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊			
小学校	件数	2			1			1		1					1			1	15	22	30	
	男	3			1			1							2			1	25	33	17	
	女									2								1	7	10	13	
中学校	件数	2	1																25	28	65	
	男	2	1																27	30	40	
	女																		7	7	25	

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	4	2		5	13	9	33	5	14	11	30
女			1	2	3	4	10	2	1	4	7
計	4	2	1	7	16	13	43	7	15	15	37

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		3		5	4	5	17	13	11	16	40
女	2			1	4	6	13	7	12	6	25
計	2	3		6	8	11	30	20	23	22	65



事象の概要

【小学校】

- ① 5年生の児童2人からお金をもらいお菓子を買う。
- ② トイレで友達に驚かされたことに腹が立ち、相手の顔を叩く。

【学校より】…(6年男1名)
【学校より】…(4年男1名)

【中学校】

- ③ 体育の授業中、教員にふざけていたことを注意されて腹を立て教員に手を出す。
- ④ 授業中、友達に嫌なことを言われ休み時間に相手を蹴る。

【学校より】…(2年男1名)
【学校より】…(2年男1名)

7月の問題行動については、小学校では、6月に比べ、指導件数・人数ともに大幅に増加しました。小学校高学年で「からかい」事象があり、低学年の児童と同じクラスの児童に対して嫌なことを言うという事象が起きました。中学校においては、指導件数・人数とも先月より微減しています。自分の感情が抑えられず手を出すといった「暴力事象」が起きました。また、SNSで相手の悪口を書き込みトラブルになるケースや髪の毛を染める等の「その他事象」も多く起きました。

不登校については、小学校、中学校ともに増加しています。昨年度の同時期に比べると多い状況でもあります。今後も保護者と連携し個々への支援をよろしくお願いします。

夏季休業期間中、各校においては、研修会や各部会、チーム会議等で、1学期の振り返りとまとめをしっかり行い、2学期以降の指導方針を再度確認し、個々の児童生徒に対する指導と支援の手立てを明確にしてください。そして、学校全体で共通理解が図られた方針に基づき、「チーム学校」として組織的な対応が図られますようよろしくお願いします。

はぐくみ

第399号

城陽市教育委員会 学校教育課

8月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和元年8月1日～8月31日）

問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
暴力	対生徒	対教師	対人	器物損壊	恐嚇	万引き	金銭・物品	盗	金銭の持ち出し	火遊び	喫煙	飲酒	薬物乱用	悪質・不健全	無断外泊・家出	わいせつな行為	不純異性交遊	その他	不登校	その他
小	件数								1										1	／
学	男								1										1	／
校	女																		／	／
中	件数																	4	4	／
学	男																	3	3	／
校	女																	1	1	／

問題行動学年別指導人数

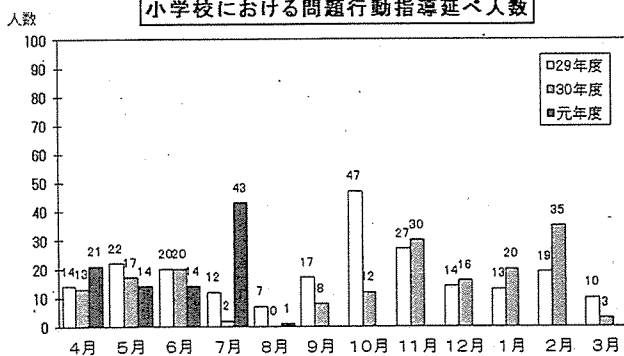
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1					1	1	1	1	3
女									1		1
計		1					1	1	2	1	4

不登校児童生徒学年別人数

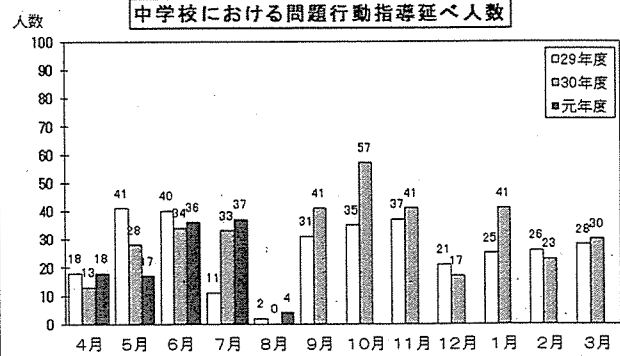
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
女	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
計	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／

※8月27日～8月31日の出欠は9月に報告します

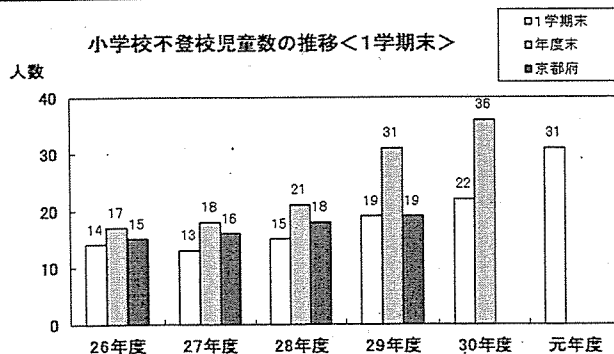
小学校における問題行動指導延べ人数



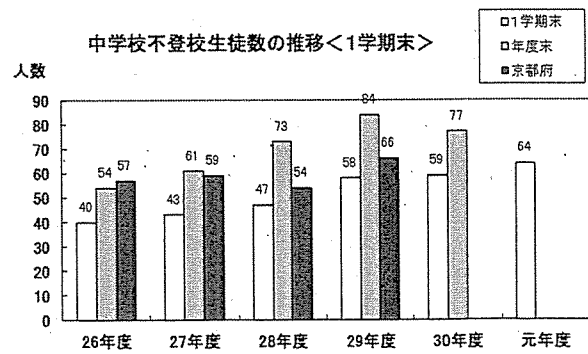
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校不登校児童数の推移＜1学期末＞



中学校不登校生徒数の推移＜1学期末＞



※ 京都府の数値については、京都府の不登校児童生徒の発生率を城陽市の児童生徒数の割合で表したものである。

8月の問題行動については、小学校では母親のカードを使い、アプリへ課金するという「金銭の持ち出し」事象が起きました。中学校では髪の毛を染める等の「その他」事象が4件起きました。

1学期をまとめてみますと、昨年度の1学期末と比べ、小・中学校とも指導件数・指導人数ともに増加しました。

不登校についても、小・中学校ともに昨年度の1学期末に比べ、増加しています。昨年度から不登校状態が続いていたり、逆に登校できるようになったり、本年度より不登校傾向を示す等のケースは様々です。

また、ここ数年不登校児童生徒数が増えております。欠席がちや欠席が連続で続く場合等は、早期対応・支援が大切ですので、担任だけでなく、学年や学校としての組織的な対応をお願いします。不登校児童生徒のそれぞれの態様と状況をしっかり把握し、保護者との連携、交流を深め、より丁寧な対応、支援をお願いします。

2学期は、児童生徒にとって学校生活の大きな節目となる行事が多く計画されています。また、地域等での行事もあります。集団の中で自分の居場所を見つけ、児童生徒一人一人が意欲的に取り組むことができるような支援ときめ細かな指導をお願いします。

はぐくみ

第400号

城陽市教育委員会 学校教育課

9月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和元年9月1日～9月30日）

問題行動 件数 校種	人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19 その他 登校	20 その他 被害等
		暴力	器	恐	窃	盗	金	盗	金	盗	火	喫	飲	薬	悪	無	わ	不	そ		
		生徒	対	対	物	万	金	金	金	金	火	喫	飲	薬	悪	無	わ	不	そ		
小学校	件数	3			1										1				6	11	28
	男	4			1										1				7	13	15
	女																		1	1	13
中学校	件数	1																	15	16	75
	男	1																	28	29	43
	女																		1	1	32

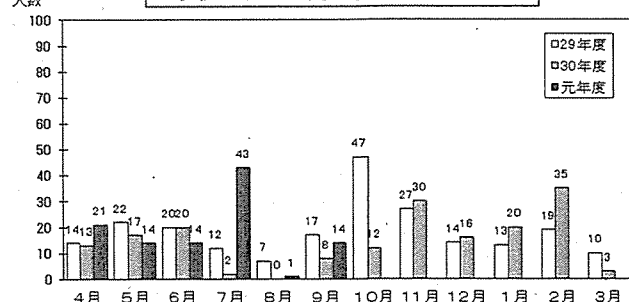
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	3		1	8		13	4	19	6	29
女					1	1	2		1		1
計	1	3		1	9	1	14	4	20	6	30

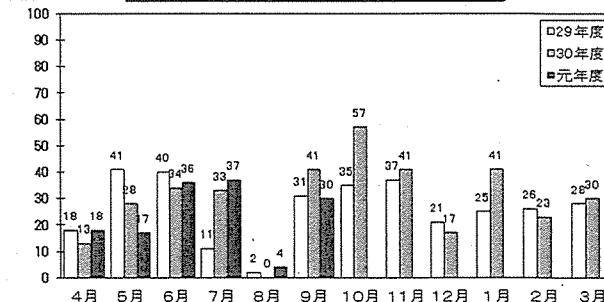
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		3	1	4	3	4	15	14	12	17	43
女	1	1		1	5	5	13	8	19	5	32
計	1	4	1	5	8	9	28	22	31	22	75

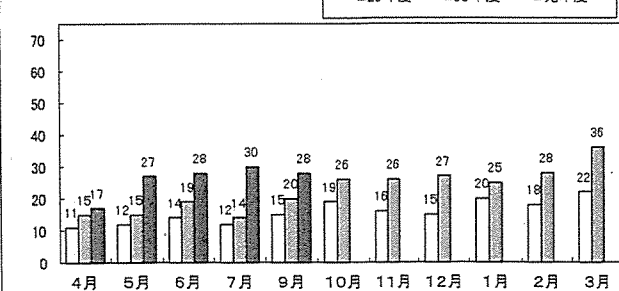
小学校における問題行動指導延べ人数



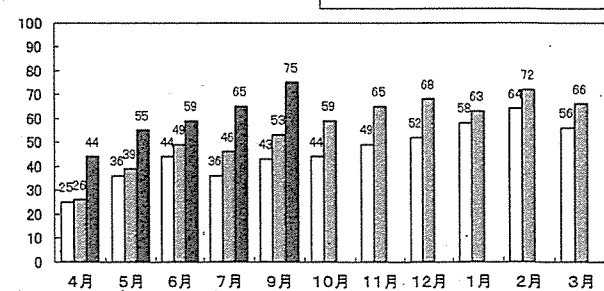
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- ①昼休みにブランコの取り合いになり、相手を叩く。
- ②女子児童の筆箱に死んだ虫を入れる。

【学校より】…（4年男1名）
【学校より】…（5年男1名）

【中学校】

- ①ペンの貸し借りをしていて、インクの無駄使いに腹を立て相手を叩く。
- ②卑猥な絵が描かれたスケッチブックを女子生徒に見せる。

【学校より】…（1年男1名）
【学校より】…（2年男5名）

9月の問題行動については、昨年度に比べ、小学校では指導件数・指導人数ともに増加し、中学校では減少しました。小学校では、児童間でブランコの取り合いから相手を叩く等の児童間トラブルや自分の思い通りにならなかったことに対して腹を立て黒板消しを投げるといった「その他事象」が起っています。中学校では、ペンの貸し借りからけんかになった生徒間トラブルや動画撮ってからかうといったネットによるトラブル等複数の生徒が係わる「その他事象」が起っています。

不登校人数について、1学期末に比べると、小学校では減少し、中学校では増加しました。特に、中学2年生の人数が増えています。学校行事をきっかけに登校できるようになる児童生徒、逆に欠席がちになる児童生徒も出ています。児童生徒の状況を把握し、保護者と連携を深め、個々に目標をもって少しずつ頑張れるように学校として組織的な対応・支援をお願いします。

各校においては、運動会、校外学習や体育大会、合唱コンクール等の学校行事を無事に終えることができました。行事に頑張っ取り組んだ成果や身に付けた力が今後の学校生活で更に発揮され、お互いに認め、高め合うことができるような取組や支援をよろしくお願いします。

はぐくみ

第401号

城陽市教育委員会 学校教育課

10月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和元年10月1日～10月31日）

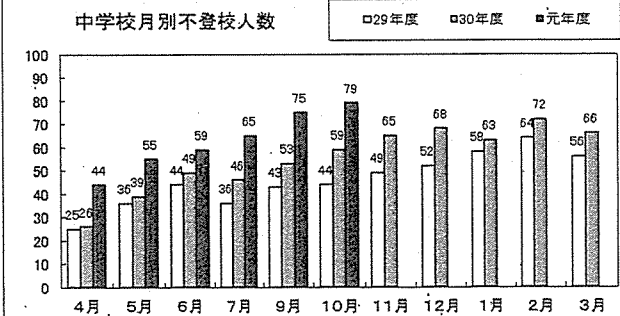
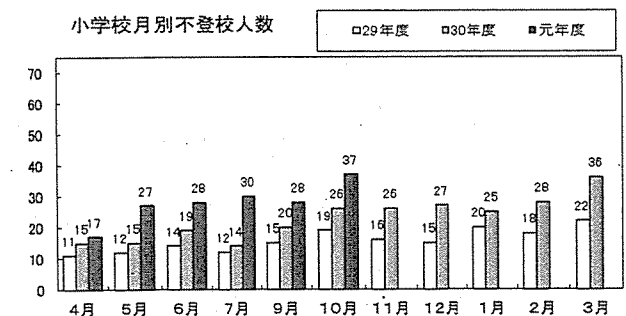
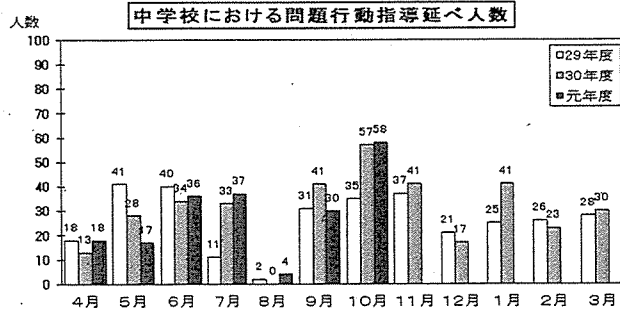
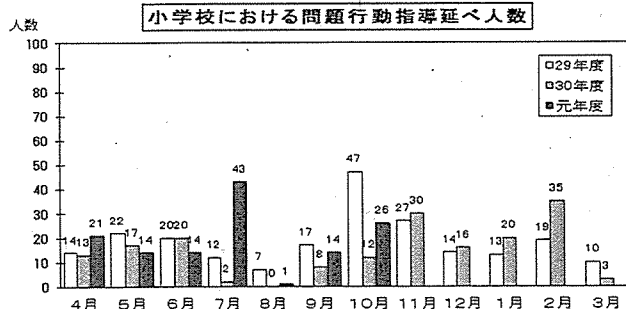
問題行動 件数 校種	人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20
		暴力			器物損壊	恐 か つ	窃 万 引 き	盗 金 銭・ 物 品	盗 バ イ ク 自 転	金 銭 の 持 ち 出 し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 ・ 不 健 全	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他		不 登 校	そ の 他 被 害 等
		生 徒	対 教 師	対 人																		
小 学 校	件数	1			2		1												12	16	37	
	男	1			2		1												16	20	18	
	女																		6	6	19	
中 学 校	件数	1	1																27	29	79	
	男	2	1																33	36	44	
	女																		22	22	35	

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	1	2	5	6	5	20	18	5	13	36
女				2	4		6	8	14		22
計	1	1	2	7	10	5	26	26	19	13	58

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		2		6	6	4	18	16	13	15	44
女	3	1		2	4	9	19	9	17	9	35
計	3	3		8	10	13	37	25	30	24	79



事象の概要

【小学校】

- ①下校中、自動販売機の積み込みトラックからジュースを盗む。
- ②友達にちょっかいをかけ注意されたことにいらだち相手の首を引っ掻く。

【学校より】…（5年男1名）
 【学校より】…（6年男2名）

【中学校】

- ①昼休み、お互いに悪口の言い合いになり、喧嘩に発展し手が出る。
- ②頭髪を注意した教師の胸ぐらを掴む。

【学校より】…（2年男1名）
 【学校より】…（3年男1名）

10月の問題行動については、小・中学校で先月に比べ指導件数・指導人数が増加しました。小学校では、友達にちょっかいをかけ注意されたことにいらだち相手の首を引っ掻くといった「暴力事象」や授業中の立ち歩きといった校内迷惑行為等の「その他事象」が起っています。中学校では、頭髪を注意されたことに対して腹を立て教師の胸ぐらを掴むという「暴力事象」や、テスト中のカンニング行為や携帯電話を持ち込んでゲームをする等の「その他事象」が起っています。小学5年生と中学1年生の男子が多く事象を起こしています。引き続き指導と見守り・支援をお願いします。

不登校人数について、小・中学校とも増加しました。大きな行事を終え、登校意欲が低下している児童生徒も見られます。例年に比べると小学6年生、中学校2年生が多い状況です。出欠状況や学校での様子の変化を捉え、個々の態様に合ったきめ細かな支援と保護者との連携をお願いします。特に、休み始めの初期対応が大切ですので、個々の状況をしっかり把握し、学級担任を中心にチームでの支援をよろしくお願いします。

2学期も後半に入り、小学校では、マラソン大会に向けての取組、中学校では、教育相談・進路相談が実施され、その後に学期末テストも実施されます。児童生徒1人1人が明確な目標をもって自分自身を高め成長していくことが大切です。そのために児童生徒との信頼関係を更に深め、そして児童生徒同士がお互いのことを考え、楽しみ充実した学校生活が送れるように指導・支援をよろしくお願いします。

はぐくみ

第402号

城陽市教育委員会 学校教育課

1 1月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和元年11月1日～11月30日）

問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20																	
																						暴力		器 物 損 壊	恐 か つ	窃 万 引 き	盗 金 銭・物 品 バイク 自 転	金 銭の持 ち出し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 ・不 健 全	無 断 外 泊・ 家 出	わ い せ つな 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他	
																						生 徒 間	対 教 師															対 人

小 学 校	件数	1																15	16	36
	男	1																32	33	18
	女																	4	4	18
中 学 校	件数																	16	16	83
	男																	39	39	46
	女																	3	3	37

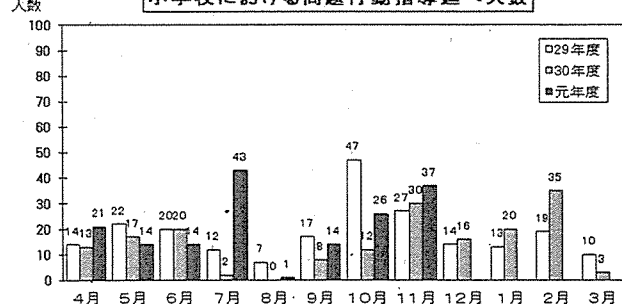
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	3			3	9	18	33	21	17	1	39
女			2	2		4	8	2	1		3
計	3		2	5	9	22	41	23	18	1	42

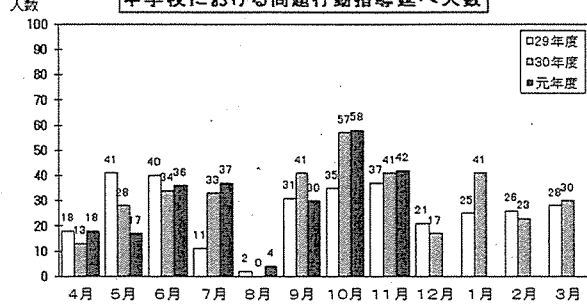
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		3		5	4	6	18	17	12	17	46
女	3	2		3	4	6	18	12	15	10	37
計	3	5		8	8	12	36	29	27	27	83

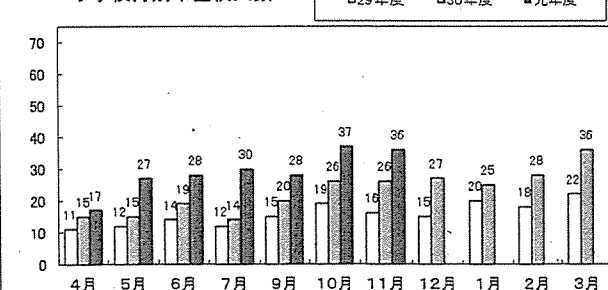
小学校における問題行動指導延べ人数



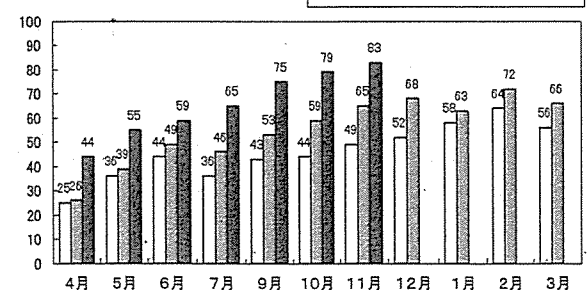
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- ①下校時、下級生にからかわれたことに腹を立て下級生を蹴って泣かす。
- ②10月中旬頃から約2週間にわたり、同級生たちから悪口を言われていた。
- ③放課後、校外で下級生が遊んでいたところに6年生が入り財布を奪ったり投げたりした。

【学校より】…(6年男1名)
 【学校より】…(6年男2名)
 【学校より】…(6年男7名)

【中学校】

- ①同じクラスの生徒に対して複数で悪口を言う。
- ②下校時、執拗に男子生徒を追いかけて足をかける。
- ③校外学習で複数名の生徒が携帯を持ってきたり、途中でお菓子を買って食べる。

【学校より】…(2年男5名)
 【学校より】…(1年男6名)
 【学校より】…(1年男8名)

11月の問題行動については、小学校では先月に比べ指導件数は変わらず指導人数が増加しました。中学校では指導件数・指導人数は減少しました。小学校では、下校時に下級生からからかわれたことに対して腹を立て下級生を蹴るといった「暴力事象」や些細なことから言い合いとなり腹を立てて相手を叩く等の「その他事象」が起っています。中学校においても、以前からちよっかいをかけられていた生徒に対して手をだすといった「暴力事象」、勘違いからのSNS上での生徒間トラブルや携帯電話の持ち込み等の「その他事象」が多く起っています。

不登校人数について、小学校では少し減少し、中学校では増加しました。児童生徒に寄り添いながら、保護者と連携を深め、情報を共有し、組織的・計画的に、個々の児童生徒に応じたきめ細やかな支援を進めていくことが大切であります。

間もなく冬季休業に入ります。1年間を振り返り、新たな1年への計画を立てる大切な時期でもあります。また、生命にかかわる事件や事故が起きないよう、児童生徒が安全で有意義な生活を送れるよう家庭との連携も含めた指導と支援をお願いします。

はぐくみ

第403号

城陽市教育委員会 学校教育課

12月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和元年12月1日～12月31日)

問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	暴力 生徒 対教師 対人	器物 損壊	恐 か	窃 万 引	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	金 銭の 持ち 出し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 な 言 い 交 渉	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 渉	そ の 他	不 登 校	そ の 他 被 害 等
小 学 校	2								1									8	11	37
男	2								1									15	18	17
女																				20
中 学 校																		6	6	77
男																		5	5	43
女																		2	2	34

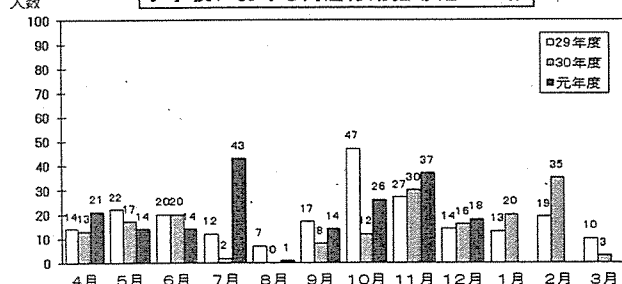
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	4	2		4	5	3	18	3	2		5
女								1		1	2
計							18				7

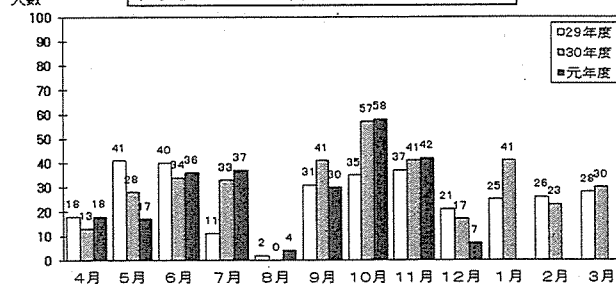
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	2		6	4	4	17	16	12	15	43
女	2	2	1	2	4	9	20	10	16	8	34
計	3	4	1	8	8	13	37	26	28	23	77

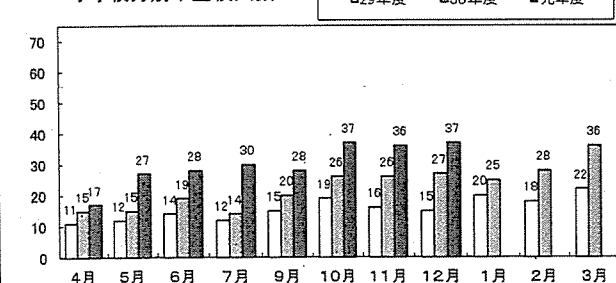
小学校における問題行動指導延べ人数



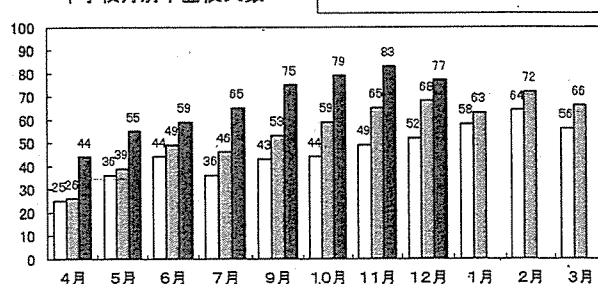
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- 友人に1500円分のプリペイドカードを数回渡す。
- 階段を段ボールで滑っていたところを教師に注意され、指導に従わず教師の足を蹴る。
- 給食の食器の片付けが不十分で教師に指導された際、腹を立て教師の足を蹴る。

【学校より】…(5年男1名)
 【学校より】…(4年男1名)
 【学校より】…(4年男1名)

【中学校】

- 授業中にスマホで授業の様子を撮影しSNSにアップロードする。
- 下校時に通りかかった小学生に悪口を言ってからかう。
- 以前、トラブルがあった女子生徒に対して悪口を言う。

【学校より】…(3年女1名)
 【学校より】…(1年男1名)
 【学校より】…(2年男1名)

12月の問題行動については、小学校では先月に比べ指導件数・指導人数が減少しました。中学校においても指導件数・指導人数が大きく減少しました。小学校では、教師に注意されたことに対して腹を立てての「暴力事象」やふざけてからかう、笑うといった嫌がらせや下校中の高校生をからかう等の「その他事象」も起こっています。中学校においても、生徒間同士のコミュニケーションがうまく取れず、けんかや言い合いに発展する生徒間トラブルや授業の様子をSNSにアップロードするといった「その他事象」が起っています。

不登校人数について、小学校では少し増加し中学校では減少しました。例年に比べ小学4、5、6年生が、中学校では1、2年生が多い状況です。特に小学6年生においては、中学校に向けての目標や見通しが持てるような支援を、中学3年生においては、各自の進路目標を明確にし、その進路実現に向けての計画的な支援をお願いします。

また、3学期に入り、各校今年度のまとめをする時期となりました。学級、学年、学校としてやりきった実践と成果を再度確認し、その上で課題や反省について十分検討し、今年度の仕上げとなる指導と今後につながる更なる支援をお願いします。

はぐくみ

第404号

城陽市教育委員会 学校教育課

1月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年1月1日～1月31日)

問題行動 件数 人数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20																
																						暴力			器 物 損 壊	恐 ろ 心	窃 盗	金 銭 の 持 ち 出 し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 ・ 不 健 全	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他
																						生 徒 間	対 教 師	対 人													
小 学 校	件数	1		1														4	6	43																	
	男	1		1														15	17	24																	
	女	1																3	4	19																	
中 学 校	件数	1																19	20	90																	
	男	2																38	40	47																	
	女																	9	9	43																	

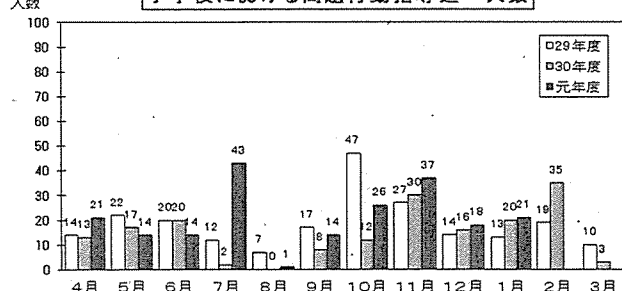
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1		4	5	7	17	9	21	10	40
女		3			1		4	2	3	4	9
計		4		4	6	7	21	11	24	14	49

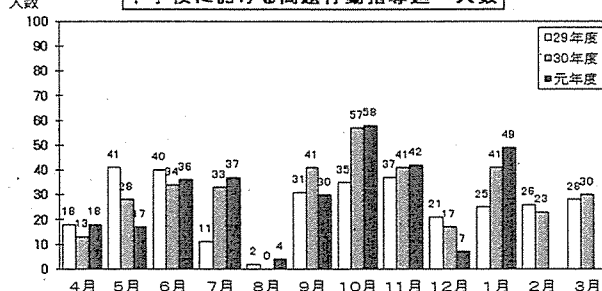
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		3	1	7	7	6	24	15	13	19	47
女	2	2	1	2	5	7	19	14	19	10	43
計	2	5	2	9	12	13	43	29	32	29	90

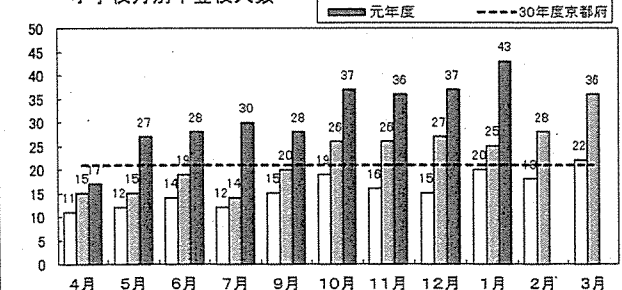
小学校における問題行動指導延べ人数



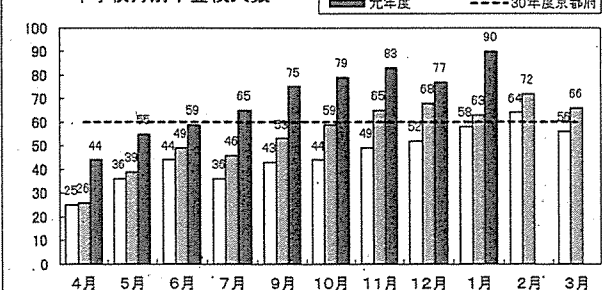
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- ①休み時間に友達と言ひ合いになり、腹を立てリコーダーを投げ窓ガラスが割れる。
- ②昼休みの鬼ごっこの中で鬼になった児童に対して人権に関わる発言をする。
- ③昼休みに1人の児童を4人で押さえつける。

【学校より】…(5年男1名)
 【学校より】…(2年男1名女3名)
 【学校より】…(4年女4名)

【中学校】

- ①休み時間に勉強している生徒の横ではさみをもって邪魔をして手をけがする。
- ②男子生徒の靴下を取って、女子生徒の筆箱に入れる。
- ③昼休み、数人でトランプをして遊ぶ。

【学校より】…(1年男1名)
 【学校より】…(1年女2名)
 【学校より】…(3年男2名女4名)

1月の問題行動については、小学校では先月に比べ指導件数・指導人数が増加しました。ちょっかいをかけたりかけられたりする中からのケンカや言い合いになって腹を立てリコーダーを投げるといった「児童間トラブル」、また嫌がることをわざと言った「からかい、嫌がらせ」事象等の「その他事象」が多く起こりました。中学校では先月に比べ、指導件数・指導人数が増加しました。中学校においてもちょっかいをかけたり、相手に対して嫌がらせやからかいトラブルになるケースや教師に注意されたことに対する暴言をばく、学校にスマートフォンを持ち込むといった「その他事象」が多く起こりました。

不登校人数について、小・中学校ともに増加しました。新学期を迎え、なかなか登校できない児童生徒が増えています。家庭との連携を密に行い、欠席児童生徒の状況を把握し、来年度に向けた見通しや目標を個々に少しでももてるような支援を組織的にお願いします。

年度末のこの時期は、一年間を振り返りまとめを行う大切な時期であります。個人のまとめを行うとともに学級や学年のまとめをしっかりと行い、本年度の成果や課題を明らかにし、次年度に繋がる目標・めあてをお互いに確認しさらに積極的な指導や支援の工夫をお願いします。

はぐくみ

第405号

城陽市教育委員会 学校教育課

2月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年2月1日～2月29日)

問題行動 校種	件数 人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		暴力 生徒 対教師 対人	器 物 損 壊	恐 ろ か	窃 盗 万 引 き	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品	盗 金 銭・物 品		
小 学 校	件数	1	2	2																8	13
	男	1	2	1																7	11
	女				2															5	7
中 学 校	件数					1														27	28
	男					1														43	44
	女																			2	2
計																				53	

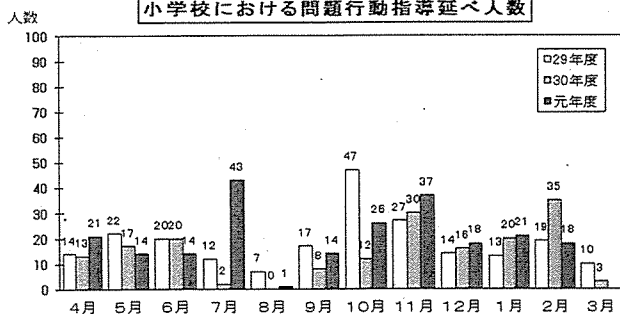
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	1	4	2	3		11	12	23	9	44
女		1	1			5	7	2			2
計	1	2	5	2	3	5	18	14			46

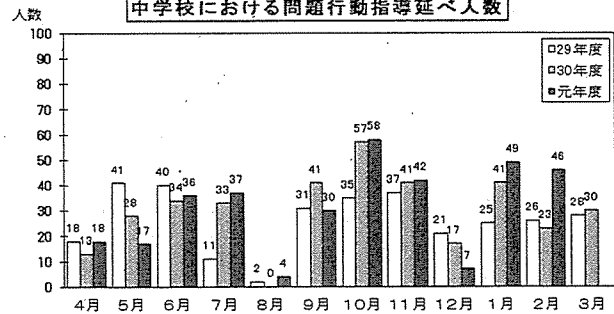
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		2	1	5	7	7	22	15	15	19	49
女		2		1	6	8	17	16	23	14	53
計		4	1	6	13	15	39	31	38	33	102

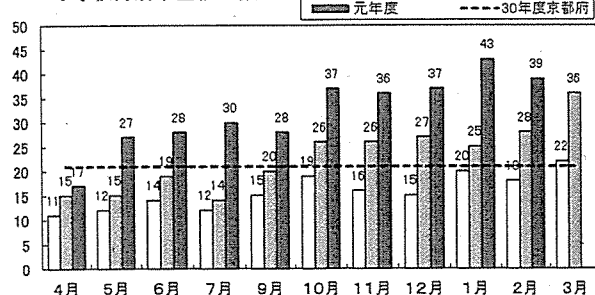
小学校における問題行動指導延べ人数



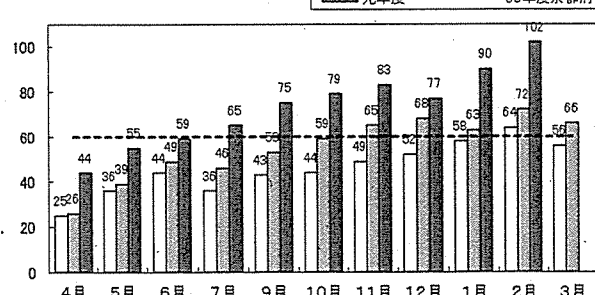
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- 駄菓子屋さんで500円相当のお菓子をポケットに詰め込んで持ち帰ろうとした。
- 学校行事の練習中、自分の意見が通らず腹を立て、教師に暴言を吐き足を蹴った。

【学校より】…(3年男1名)
【学校より】…(4年男1名)

【中学校】

- 路上で警察官に声をかけられ、その際乗っていた自転車が盗難車であることがわかる。
- 卒業生と一緒に宇治市内の中学校を訪問する。
- じゃんけん勝負などで、電子マネーや現金などのやりとりをする。

【学校より】…(3年男1名)
【学校より】…(3年女1名)
【学校より】…(2年男3名)

2月の問題行動については、小学校では先月に比べ指導件数・指導人数が減少しました。自分の思い通りにならず、教師に対して暴言を吐き、足を蹴るという対教師暴力事象が起きました。また、近隣の量販店で文房具や玩具を盗む万引き事象も起きています。中学校においても、先月に比べ、指導件数・指導人数が減少しました。中学校では、卒業生と他市町の中学校を訪れるといった他校訪問やSNSで同じクラスの子供生徒の悪口を書き込むといった等の「その他事象」が多く起きました。

不登校人数については、小学校では減少、中学校では増加しています。支援の継続と個々の状況を把握し、次年度への見通し、目標を持ったつなぎを保護者とともによろしくお願い致します。

各学校においては、今年度の評価や反省を生かし、新年度に向けてスムーズなスタートが切れるように十分な準備をお願いします。学級編制についても十分検討いただき、個々の児童生徒についての情報共有と支援の方法等の引き継ぎをお願いします。特に、中学校は新入生に関する小学校との連携をしっかりと進めてください。

はぐくみ

第406号

城陽市教育委員会 学校教育課

3月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年3月1日～3月31日)

問題行動 件数 校種	1 暴力 生徒 間	2 対 教 師	3 対 人	4 器 物 損 壊	5 恐 ろ か	6 窃 盗 万 引 き	7 盗 金 銭・物 品	8 盗 バ イ ク 自 転 車	9 金 銭 の 持 ち 出 し	10 火 災 遊 び	11 喫 煙	12 飲 酒	13 薬 物 乱 用	14 悪 質 な 言 動・不 健 全	15 無 断 外 泊・家 出	16 わ い せ つ な 行 為	17 不 純 異 性 交 渉	18 そ の 他	19 不 登 校	20 そ の 他 被 害 等
小 学 校	件数																			
男																				
女																				
中 学 校	件数																	5	5	
男																		4	4	
女																		3	3	

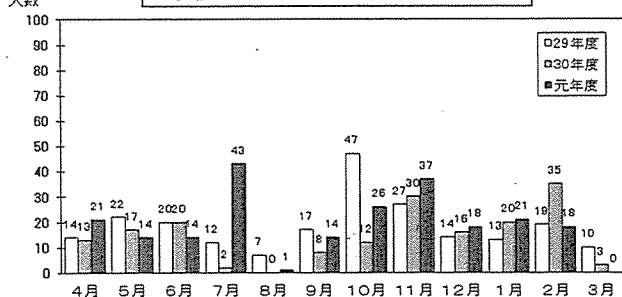
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男									3	1	4
女								3			3
計								3	3	1	7

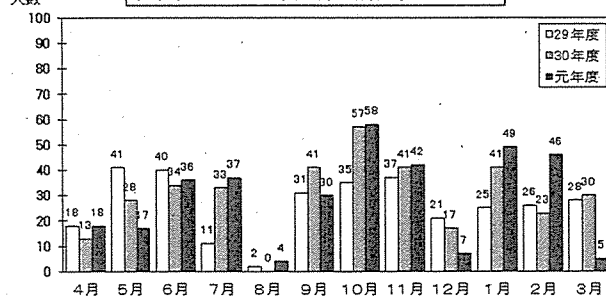
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
女	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
計	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

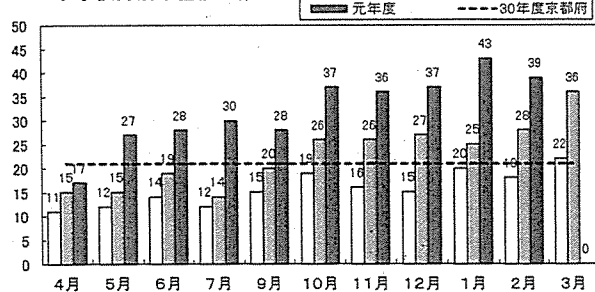
小学校における問題行動指導延べ人数



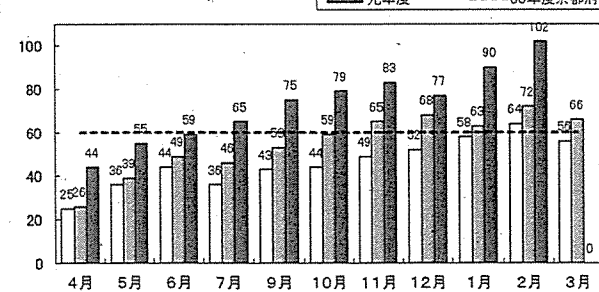
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【中学校】

- ①登校日に髪の毛を染髪して登校する。
- ②LINEで以前交際していた女子生徒とのやりとりを別の生徒に送る。
- ③卒業式に特攻服で登校する。

【学校より】…(2年女2名)

【学校より】…(2年男2名)

(1年女1名)

【学校より】…(3年男1名)

コロナウイルス感染拡大防止により3月3日より臨時休校となったため、3月の問題行動については大幅に減少しています。臨時休業中は不要不急の外出は控えるように各校で指導していただきましたが、公園や公共施設で児童生徒が集まっているという情報があり、青色回転灯を回して市内を毎日パトロールしました。

不登校人数については、3月の人数はありませんが、休業中も家庭訪問や電話連絡を行い、次年度へ向けた話し合いや、計画が練られています。また、ふれあい教室の相談は行っており保護者との電話相談や来所相談も実施し学校への登校へ向けた話し合いが行われています。

本年度を振り返ると、小学校・中学校とも指導件数・指導人数が減少しました。1つ1つの事象をみると様々な要因を抱えている児童生徒が多く、個々の状況を十分理解した上で粘り強い指導と継続的な指導が求められています。

年度が変わりましたが、臨時休校が5月6日までとなっています。個々の児童生徒が目標をしっかり持ち、学校生活を充実させることができるような支援と指導体制の準備をよろしくお願いします。

は　ぐ　く　み

第 4 0 7 号

城陽市教育委員会 学校教育課

4月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和2年4月1日～4月30日）

[illegible]

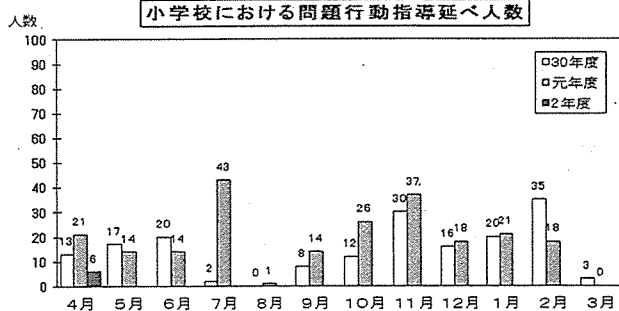
問題行動学年別指導人数

學年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			1				1	5			5
女			5				5				
計			6				6	5			5

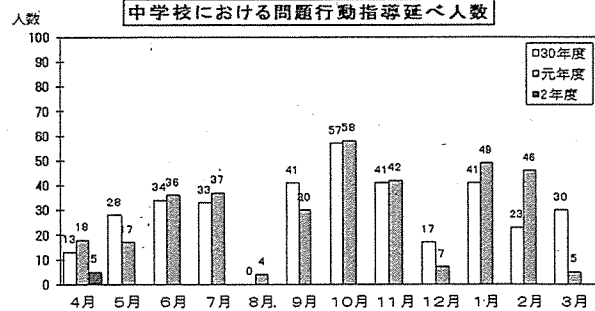
不登校児童生徒学年別人数

[illegible]

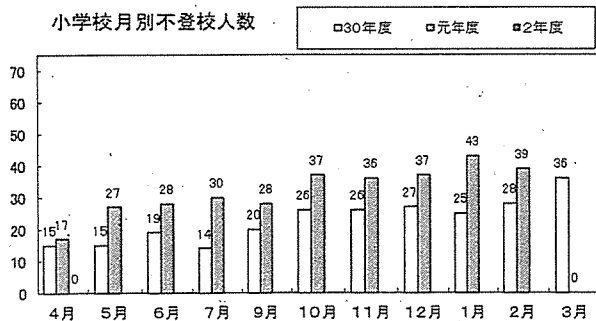
小学校における問題行動指導延べ人数



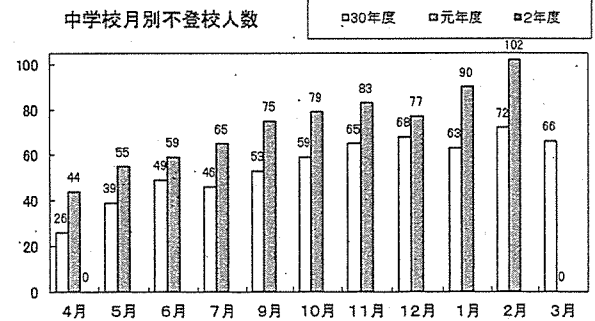
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- ①登校日に友だちの鉛筆の芯を全て折る。
②コミヤンの屋根に壁をつたって登り、花見をする。

【学校より】…（3年男1名）

【学校より】…（3年女5名）

【中学校】

- ①小学校のグラウンドに侵入し、ペットボトルを捨てたり、グラウンドのペグを抜く。

【学校より】…（1年男5名）

コロナウイルス感染拡大防止により臨時休校となったため、4月の問題行動については昨年度と比較すると大幅に減少しています。臨時休業中は不要不急の外出は控えるように各校で指導していただきましたが、公園や公共施設で児童生徒が集まっているという情報があり、青色回転灯を回して市内を毎日パトロールしました。

不登校人数については、4月の人数はありませんが、休業中も家庭訪問や電話連絡を行い、学校再開後へ向けた話し合いや、計画が練られています。また、スクールカウンセラーによる面談やふれあい教室の相談業務は行っており保護者との電話相談や来所相談も実施し、学校への登校へ向けた話し合いが行われています。

臨時休校が5月31日までとなっています。個々の児童生徒が目標をしっかり持ち、学校生活を充実することができるような支援と指導体制の準備をよろしくお願いします。

はぐくみ

第408号

城陽市教育委員会 学校教育課

5月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年5月1日～5月31日)

問題行動 件数 校種	1 暴力 生徒間	2 対教師	3 対人	4 器物 損壊	5 恐 か	6 万 引き	7 盗 金銭・物品	8 盗 バイク・自転車	9 金銭の持ち出し	10 火 遊び	11 喫 煙	12 飲 酒	13 薬 物 乱用	14 悪質 ・不健全	15 無断 外泊・家出	16 わいせつ な行為	17 不純異性 交遊	18 その他	19 不 登 校	20 その他 被害等
小学校																		1	1	
男																		3	3	
女																				
中学校																		1	1	
男																		1	1	
女																				

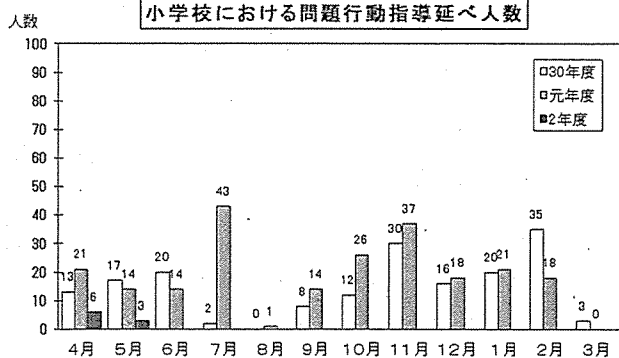
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男					2	1	3	1			1
女											
計					2	1	3	1			1

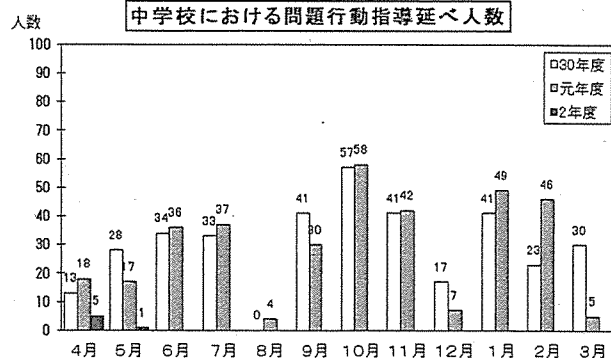
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
女	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
計	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

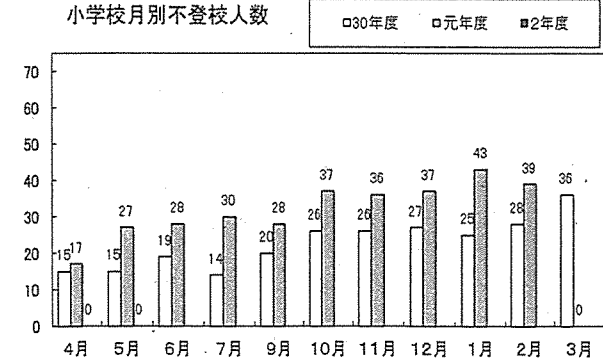
小学校における問題行動指導延べ人数



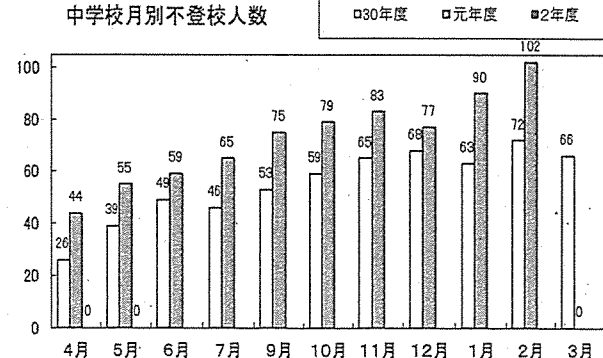
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

①路上で水風船を投げて遊び、道路に水風船のゴミなどを散乱させる。

【学校より】…(5年男2名、6年男1名)

【中学校】

①休業中の技術の課題に担当教員の悪口を書き込み提出する。

【学校より】…(1年男1名)

コロナウイルス感染拡大防止により臨時休校となったため、5月の問題行動については昨年度と比較すると大幅に減少しています。臨時休業中は不要不急の外出は控えるように各校で指導していただきましたが、公園や公共施設で児童生徒が集まっているという情報があり、青色回転灯を回して市内を毎日パトロールしました。

不登校人数については、5月の人数はありませんが、休業中も家庭訪問や電話連絡を行い、学校再開後へ向けた話し合いや、計画が練られています。また、スクールカウンセラーによる面談やふれあい教室の相談業務は行っており、保護者との電話相談や来所相談も実施し、学校への登校へ向けた話し合いが行われています。

5月25日から各児童生徒に対して週2回の分散登校が実施されました。分散登校期間には児童生徒一人一人に休業期間中の様子を聞き取り、小さな変化も見逃さないように心のケアにも努めました。6月1日より学校が再開しました。個々の児童生徒が目標をしっかりと持ち、学校生活を充実させることができるような支援と指導体制の準備をよろしくお願いします。

はぐくみ

第409号

城陽市教育委員会 学校教育課

6月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年6月1日～6月30日)

問題行動学年別指導人数

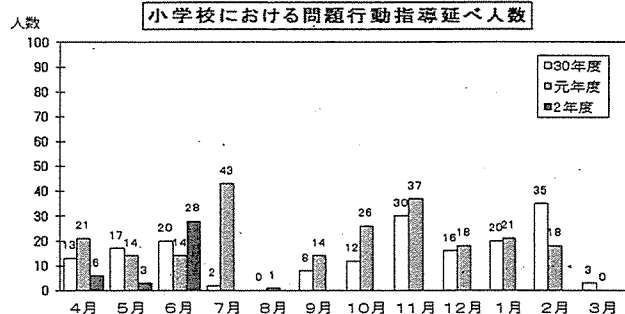
問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	暴力 生徒 対教師 対人	暴力 生徒 対教師 対人	暴力 生徒 対教師 対人	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	器物 損壊	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗	金銭 の持ち出し 盗
小学校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中学校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		9	3		3	5	20	5	1	4	10
女	1		1		1	5	8	2	3	5	10
計	1	9	4		4	10	28	7	4	9	20

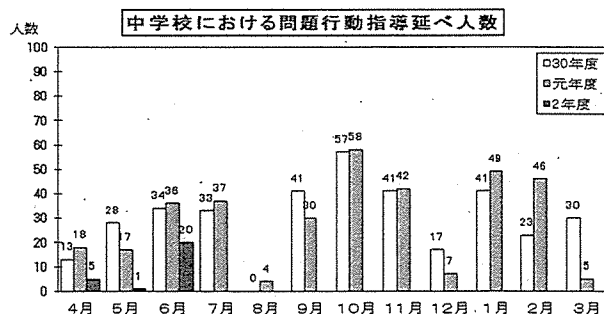
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			3	1	7	4	15	3	12	11	26
女	1	2	3		1	4	11	8	16	18	42
計	1	2	6	1	8	8	26	11	28	29	68

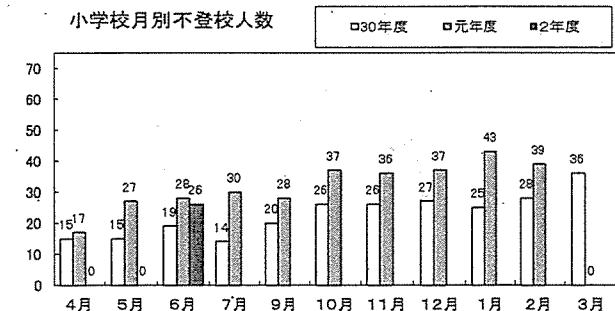
小学校における問題行動指導延べ人数



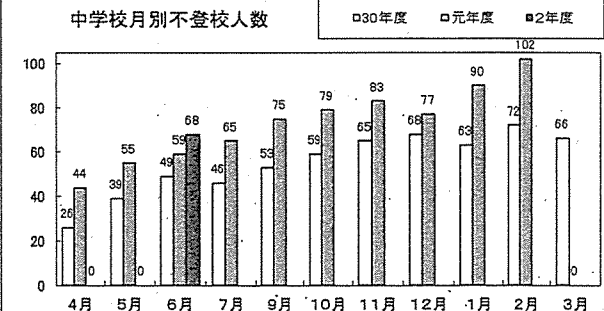
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- ①放課後、家のお金を持ち出し友だちにお菓子を著った。【学校より】…(2年男1名)
 ②時間割が自分の思い通りにならず、プリントや本を散らかし、ファイルボックスを踏みつぶす。【学校より】…(6年男1名)

【中学校】

- ①友人と一緒に市内の中学校を訪れ、校舎内に侵入する。【学校より】…(2年女1名)
 ②登校中に途中で引き返し、自宅と友人と遊ぶ。【学校より】…(3年女3名)
 ③カラーコンタクトをして登校する。【学校より】…(3年女1名)

6月の問題行動について、昨年度に比べ小学校では増加しています。ゲームの中でのポイントのやり取りをするといった「トラブル」事象や自分の思い通りにいかないことに腹を立てて相手を叩くといった「児童間トラブル」等の問題事象が起きました。中学校においては、指導件数が減少しました。ちょっかいを出され、怒って相手を叩くという「生徒間暴力」事象や「その他」事象としてスマホの持ち込みやピアスをつけて登校するといった事象が起きました。特に中学3年生の事象が多く起きました。普段からの人間関係や心身の状態等を丁寧に見ていく必要があります。

不登校については、昨年度の6月に比べ、小学校では減少し、中学校では増加しました。特に、中学校においては、昨年度より不登校傾向があった生徒が本年度も欠席が多い状況です。少しでも学校へ登校する意欲が湧くよう、保護者と連携・交流を密にしながら励ましや支援をよりしくお願いします。

6月1日から、学校が再開されました。新しい学年になり本格的な学校生活が始まっています。授業や給食、掃除など様々な日常の中で児童生徒は成長します。児童生徒へ対して丁寧な指導と対応をお願いします。

はぐくみ

第410号

城陽市教育委員会 学校教育課

7月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年7月1日～7月31日)

問題行動 件数 校種	1 暴力 生徒 対教師 対人	2 暴力 対教師 対人	3 暴力 対教師 対人	4 器物 損壊	5 恐 ろ か つ	6 窃 盗 万 引 き	7 盗 金 銭・物 品	8 盗 金 銭・物 品	9 盗 金 銭・物 品	10 盗 金 銭・物 品	11 火 災 遊 び	12 喫 煙	13 飲 酒	14 薬 物 乱 用	15 悪 質 な 言 動・不 健 全	16 無 断 外 泊・家 出	17 わ い せ つ な 行 為	18 不 純 異 性 交 遊	19 そ の 他	20 計
小 学 校	1	17	5	3	4	30	5	5	1	11										
中 学 校																				
計	1	17	5	3	4	30	5	5	1	11										

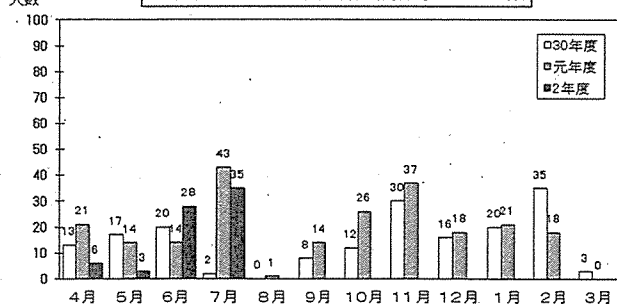
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	17	5	3	4	30	55	5	5	1	11
女			5			5	10	1	1	3	5
計	1	17	5	3	4	35	65	6	6	4	16

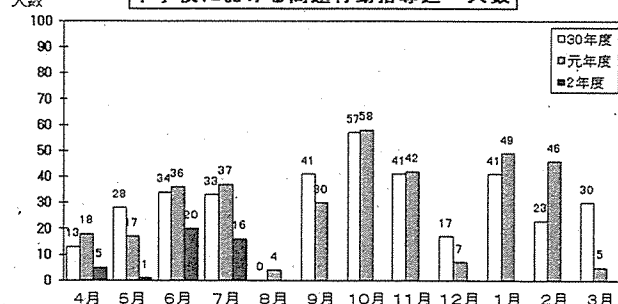
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			3	1	5	3	12	3	12	11	26
女	1	2	3		1	4	11	5	9	18	32
計	1	2	6	1	6	7	23	8	21	29	58

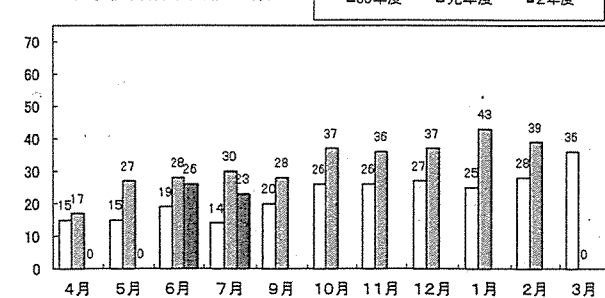
小学校における問題行動指導延べ人数



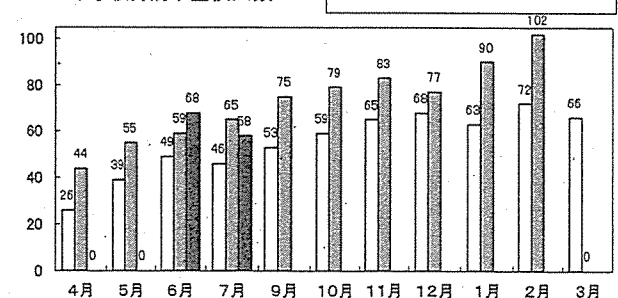
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- ①水風船で遊び、授業を1時間エスケープする。
- ②掃除の時間に注意をされたことに腹を立て、相手をホウキで叩く。

【学校より】…(2年男3名)
【学校より】…(4年男1名)

【中学校】

- ③数学の確認テストの返却後に、解答を改ざんする。
- ④学校をさぼり、同じ部活動の女子生徒の自転車借りて遊び自転車壊す。

【学校より】…(2年男1名)
【学校より】…(3年女2名)

7月の問題行動については、小学校では、6月に比べ、指導件数・人数ともに減少しました。小学校低学年で「エスケープ」事象があり、低学年の同じ児童が複数回トラブルを起こすという事象が起きました。中学校においては、指導件数・人数とも先月より減少しています。相手に注意をされ腹を立て手を出すといった「暴力事象」が起きました。また、スマホの持ち込みやスカート短く切って登校する等の「その他事象」も多く起きました。

不登校については、小学校、中学校ともに減少しています。昨年度の同時期に比べても少ない状況でもあります。今後も保護者と連携し個々への支援をよろしくお願いします。

本年度は新型コロナの影響もあり、例年より短い休業期間となりますが各校においては、研修会や各部会、チーム会議等で、1学期の振り返りとまとめをしっかりと行い、2学期以降の指導方針を再度確認し、個々の児童生徒に対する指導と支援の手立てを明確にしてください。そして、学校全体で共通理解が図られた方針に基づき、「チーム学校」として組織的な対応が図られますようよろしくお願いします。

はぐくみ

第411号

城陽市教育委員会 学校教育課

8月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年8月1日～8月31日)

問題行動 件数 校種	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18																		19	20
	暴力		器 物 損 壊	恐 ろ 心	窃 盗		金 銭 の 持 ち 出 し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 ・ 不 健 全	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他	計	不 登 校	そ の 他 被 害 等	
	生 徒	対 教 師			対 人	万 引 き														金 銭 ・ 物 品
	小 学 校	件数	1														8	9	17	
	男	1														9	10	9		
	女															2	2	8		
中 学 校	件数															8	8	49		
	男															3	3	22		
	女															11	11	27		

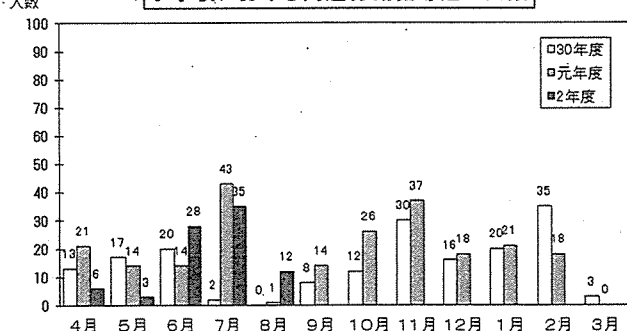
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1		2	3	2	2	10			3	3
女					2	2	4	7			11
計	1		2	3	4	4	14	7	3		14

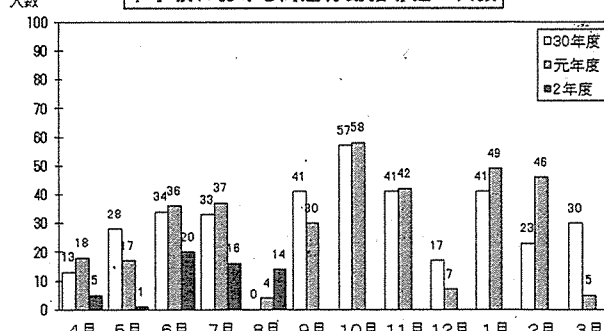
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			2	1	4	2	9	3	10	9	22
女		2	2		1	3	8	5	7	15	27
計		2	4	1	5	5	17	8	17	24	49

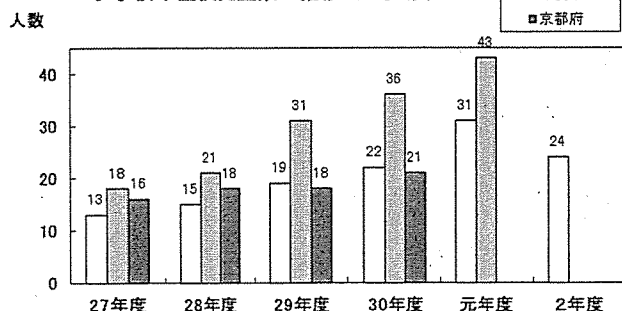
小学校における問題行動指導延べ人数



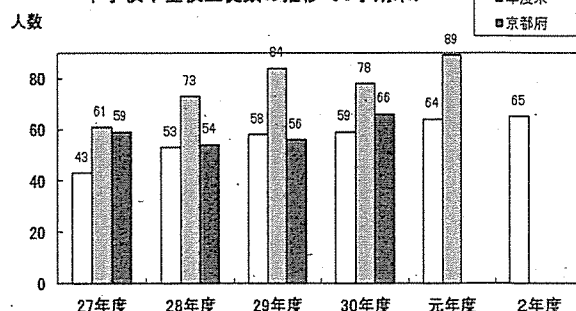
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校不登校児童数の推移<1学期末>



中学校不登校生徒数の推移<1学期末>



※ 京都市の数値については、京都市の不登校児童生徒の発生率を城陽市の児童生徒数の割合で表したものである。

8月の問題行動については、新型コロナウイルスの影響で1学期の8月1日から8月5日と2学期の8月24日から8月31日の学校のある9日間を集計しています。小学校では授業中に注意されたことに腹を立て教師に暴言を吐き、暴れるといった「対教師暴力」事象が起きました。中学校では友だちにちょっかいをだしてけんかになる等の「その他」事象が起きました。

不登校については昨年度の1学期末と比較すると、小学校では減少し、中学校では1名増加しています。昨年度から不登校状態が続いていたり、逆に登校できるようになったり、本年度より不登校傾向を示す等のケースは様々です。

また、ここ数年不登校児童生徒数が増えています。欠席がちや欠席が連続で続く場合等は、早期対応・支援が大切ですので、担任だけではなく、学年や学校としての組織的な対応をお願いします。不登校児童生徒のそれぞれの態様と状況をしっかり把握し、保護者との連携、交流を深め、より丁寧な対応、支援をお願いします。

2学期は、児童生徒にとって学校生活の大きな節目となる学期です。集団の中で自分の居場所を見つけ、児童生徒一人一人が意欲的に取り組むことができるような支援ときめ細かな指導をお願いします。

はぐくみ

第412号

城陽市教育委員会 学校教育課

9月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年9月1日～9月30日)

問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	暴力 生徒 対教師 間	暴力 対人	暴力 対物	器物 損壊	恐 れ	窃 盗	万 引	金 銭・ 物 品	金 銭の 持ち 出し	火 災	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 な 言 行	無 断 外 泊・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 渉	そ の 他	不 登 校	そ の 他 被 害 等
小 学 校	件数																	15	15	28
	男																	17	17	18
	女																	4	4	10
中 学 校	件数																	13	13	61
	男																	23	23	30
	女																	4	4	31

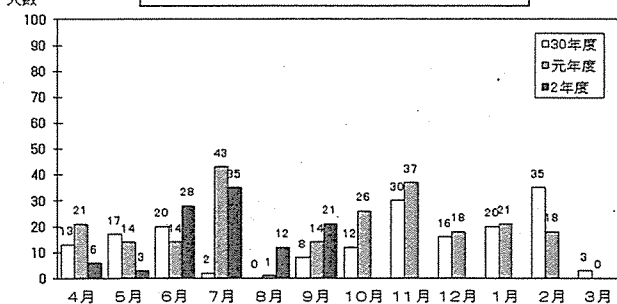
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	1	5	4	2	4	17	6	6	11	23
女		3				1	4			4	4
計	1	4	5	4	2	5	21	6	6	15	27

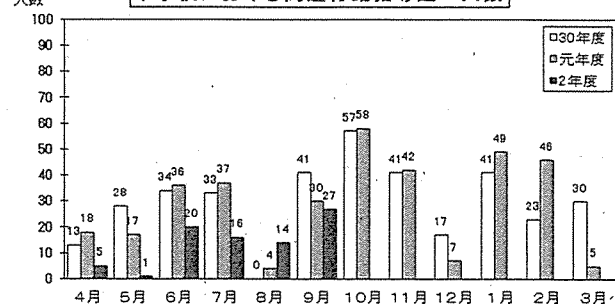
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1	2	1	8	6	18	5	13	12	30
女		2	2		2	4	10	6	8	17	31
計		3	4	1	10	10	28	11	21	29	61

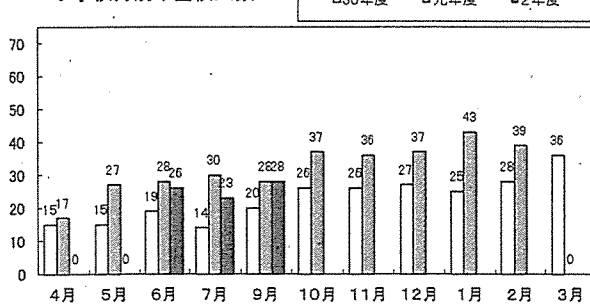
小学校における問題行動指導延べ人数



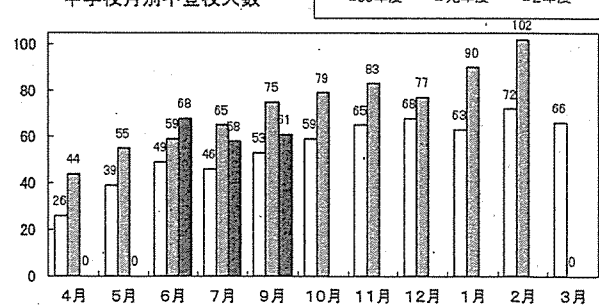
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- ①些細なことをきっかけに感情が爆発し、物を散らかし、止めに入った教師に反抗する。【学校より】…(5年男1名)
 ②ある児童に対して複数で嫌な言葉を言ったり、仲間はずれにした。【学校より】…(2年女3名)

【中学校】

- ①体育大会の練習中にエスケープし、その後の指導でも物に当たり素直に従えなかった。【学校より】…(3年男1名)
 ②ラインのグループの中で生徒の顔が合成された卓球の画像を回す。【学校より】…(3年男4名)

9月の問題行動については、昨年度に比べ、小学校では指導件数・指導人数ともに増加し、中学校では減少しました。小学校では、些細なことをきっかけに感情が爆発し、物を散らかし、止めに入った教師に反抗するといった教師反抗やラインで暴言を吐いたり嫌がらせをするといった「その他事象」が起きている。中学校では、体育大会の予行練習中に前に並んでいた生徒の背中を蹴るといった生徒間トラブルやネットによるトラブル等複数の生徒が係る「その他事象」が起きている。

不登校人数について、1学期末に比べると、小学校・中学校ともに増加しました。特に、中学3年生の人数が増えています。学校行事をきっかけに登校できるようになる児童生徒、逆に欠席がちになる児童生徒も出ています。児童生徒の状況を把握し、保護者と連携を深め、個々に目標をもって少しずつ頑張れるように学校として組織的な対応・支援をお願いします。

各校においては、コロナ対策をしながらの授業の中で体育の参観や体育大会が実施されております。行事に頑張って取り組んだ成果や身に付けた力が今後の学校生活で更に発揮され、お互いに認め、高め合うことができるような取組や支援をよろしくお願いします。

はぐくみ

第413号

城陽市教育委員会 学校教育課

10月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年10月1日~10月31日)

問題行動 校種 件数 人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	暴力	器	恐	窃	盗	金	金	盗	金	火	喫	飲	薬	悪	無	わ	不	そ		
	生	対	対	物	か	万	金	金	金	火	喫	飲	薬	悪	無	わ	不	そ		
小	2	3																18	23	36
学	4	3																21	28	23
校																		5	5	13
中															1			29	30	76
学															1			33	34	33
校																		29	29	43

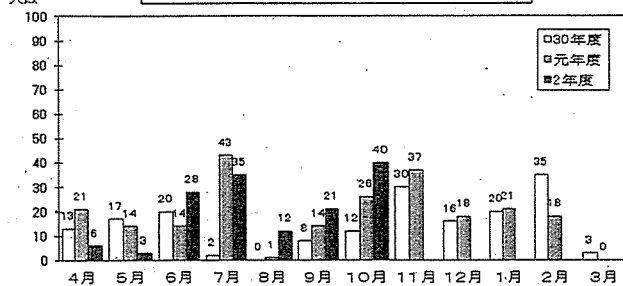
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	2	1	4	4	16	8	35	17	5	13	35
女	1	1		1	1	1	5	15	13	1	29
計	3	2	4	5	17	9	40	22	18	14	64

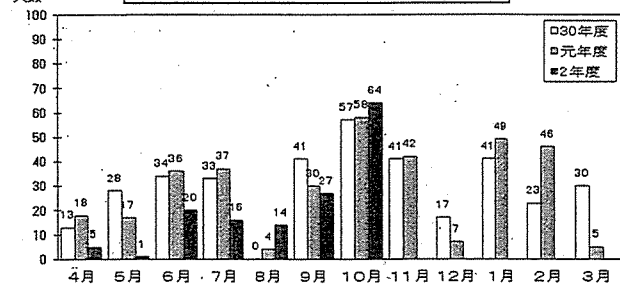
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	1	4	2	11	4	23	8	13	12	33
女		3	2		2	6	13	13	12	18	43
計	1	4	6	2	13	10	36	21	25	30	76

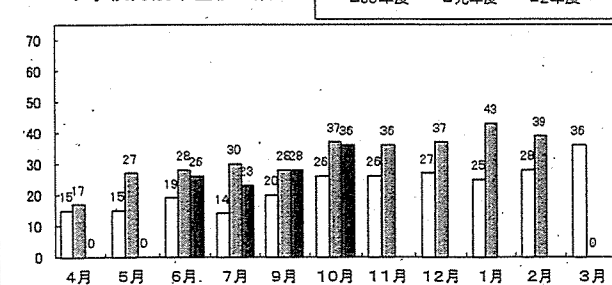
人数 小学校における問題行動指導延べ人数



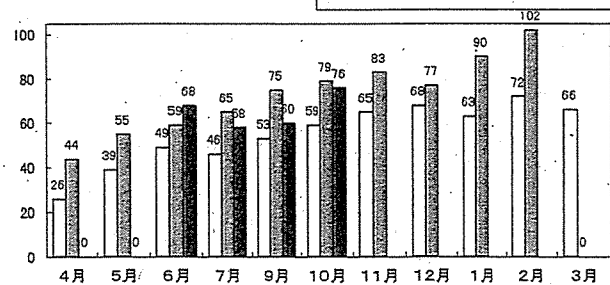
人数 中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- ①トイレの個室を利用して児童に対して、上から覗いたり水をかけたりした。
②下校中、悪口の言い合いになり相手の頬を叩く。

【学校より】…(6年男1名)
【学校より】…(6年男1名)

【中学校】

- ①同じクラス的女子に対して複数で大きく避ける等の行為をする。
②合唱コンクールの帰り道、買い食いをしたりスマホを操作したりした。

【学校より】…(1年男9名)
【学校より】…(2年女2名)

10月の問題行動については、小・中学校で先月に比べ指導件数・指導人数が増加しました。小学校では、下校中、悪口の言い合いになり相手の頬を叩くといった「生徒間暴力」や授業中後ろの児童の鉛筆を勝手に使い、注意された事に腹を立て教師に暴言・暴力をするといった「対教師暴力」が起っています。中学校では、同じクラス的女子に対して複数で大きく避ける等の行為をするという「いじめ事象」や、放課後、校内でスマホを触る等の「その他事象」が起っています。小学5年生と中学1年生の男子が多く事象を起こしています。引き続き指導と見守り・支援をお願いします。

不登校人数について、小・中学校とも増加しました。大きな行事を終え、登校意欲が低下している児童生徒も見られます。例年に比べると小学5年生、中学3年生が多い状況です。出欠状況や学校での様子の変化を捉え、個々の態様に応じたきめ細かな支援と保護者との連携をお願いします。特に、休み始めの初期対応が大切ですので、個々の状況をしっかり把握し、学級担任を中心にチームでの支援をよろしくお願いします。

2学期も後半に入り、小学校では修学旅行や2学期のまとめに向けての取組、中学校では教育相談・進路相談が実施され、その後に学期末テストも実施されます。児童生徒1人1人が明確な目標をもって自分自身を高め成長していくことが大切です。そのためには児童生徒との信頼関係を更に深め、そして児童生徒同士がお互いのことを考え、楽しみ充実した学校生活が送れるように指導・支援をよろしくお願いします。

はぐくみ

第414号

城陽市教育委員会 学校教育課

1 1月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年11月1日～11月30日)

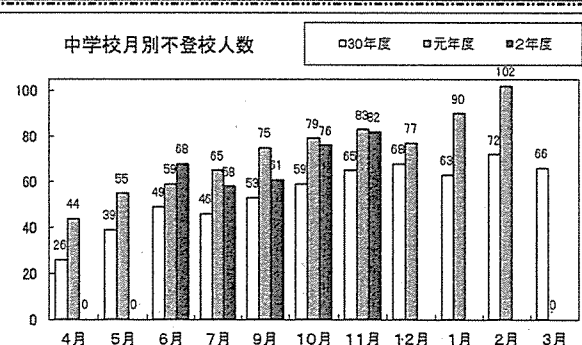
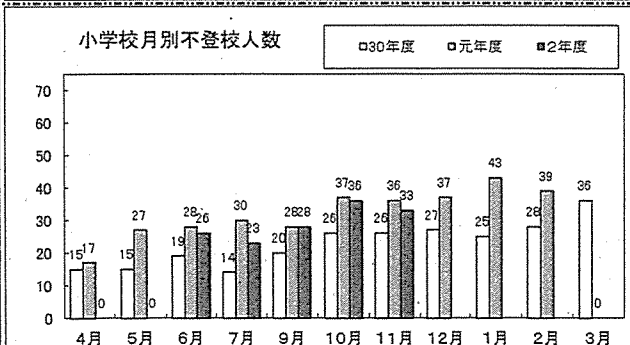
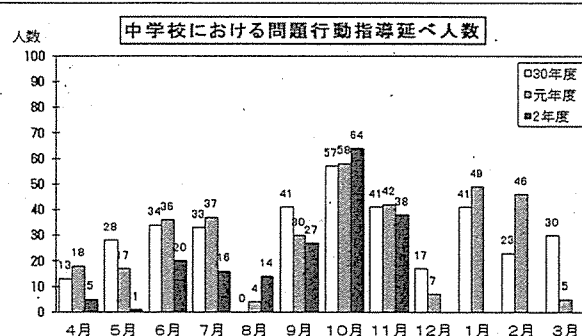
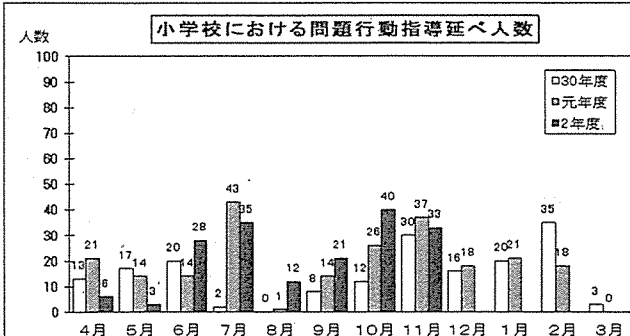
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	4		8	6	13	32	18	12	1	31
女				1		1	2	6	1		7
計	1	4		9	6	14	34	24	13	1	38

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1	3	2	9	5	20	9	15	11	35
女		3	2		3	5	13	14	15	18	47
計		4	5	2	12	10	33	23	30	29	82

問題行動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
暴力																				
器物損壊																				
恐嚇																				
万引き																				
盗金・物品																				
盗バイク・自転車																				
金銭の持ち出し																				
火遊び																				
喫煙																				
飲酒																				
薬物乱用																				
悪質・不健全な行為																				
無断外出・家出																				
わいせつな行為																				
不純異性交遊																				
その他																				
計																				
不登校																				
その他被害等																				



事象の概要

【小学校】

- ①修学旅行の自由行動中に言い合いになり、相手の首を絞める。
- ②放課後、ファーストフード店で買ったものをグラウンドで食べる。
- ③昇降口でふざけて石を投げ、跳ね返った石でガラスが割れる。

【学校より】…(6年男1名)
 【学校より】…(5年男2名)
 【学校より】…(6年男1名)

【中学校】

- ①体育の授業中、試合で負けた事に腹を立て、相手に馬乗りになり首を絞める。
- ②技術の授業の教材である大根が抜かれ、キノコを植えた。
- ③下校時、地域住民の家のインターホンを押して逃げる。

【学校より】…(3年男1名)
 【学校より】…(2年男7名)
 【学校より】…(2年男4名)

11月の問題行動については、小中学校ともに先月に比べ指導件数・指導人数は減少しました。小学校では、修学旅行の自由行動中に言い合いになり、相手の首を絞めるといった「暴力事象」や、放課後ファーストフード店で買ったものをグラウンドで食べるといった「その他事象」が起っています。中学校においても、体育の授業中、試合で負けた事に腹を立て相手に馬乗りになり首を絞めるといった事象や、下校時に地域住民の家のインターホンを押して逃げるといった「その他事象」が多く起っています。児童生徒の内面理解に努め、日常の指導よりきめ細かな対応をよろしくお願いします。

不登校人数については、小学校では少し減少し中学校では増加しました。児童生徒に寄り添いながら、保護者と連携を深め、情報を共有し、組織的・計画的に、個々の児童生徒に応じたきめ細やかな支援を進めていくことが大切です。

間もなく冬季休業に入ります。1年間を振り返り、新たな1年への計画を立てる大切な時期でもあります。また、生命にかかわる事件や事故が起きないよう、児童生徒が安全で有意義な生活を送れるよう家庭との連携も含めた指導と支援をお願いします。

はぐくみ

第415号

城陽市教育委員会 学校教育課

12月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和2年12月1日～12月31日)

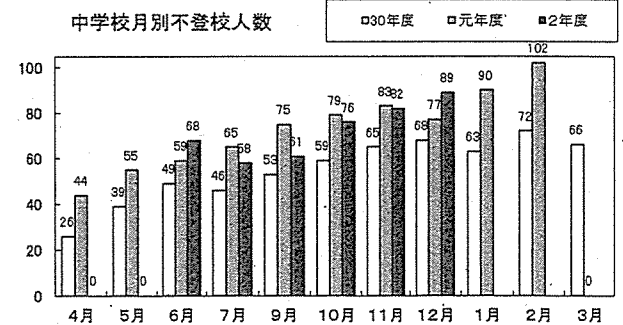
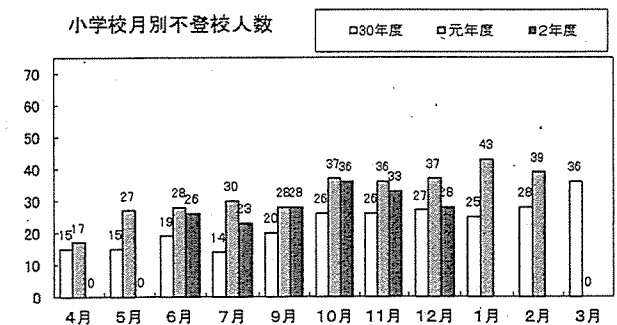
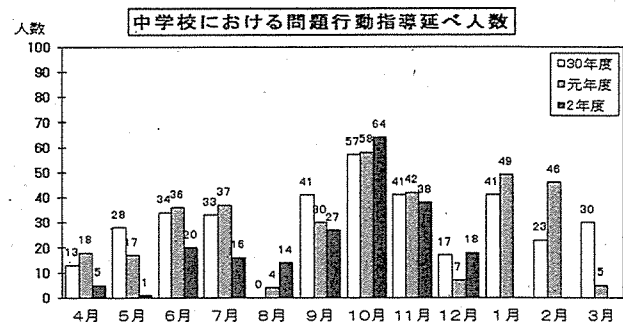
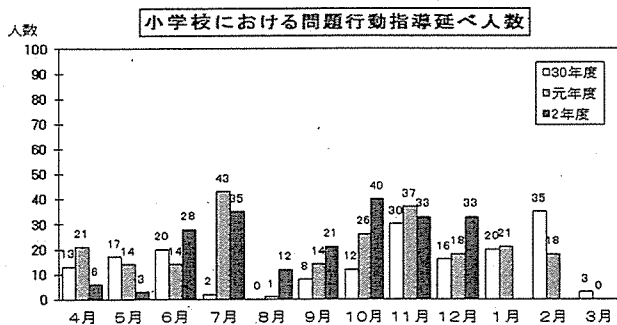
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	3	6	1	1	3	13	27	9	2	1	12
女	2	3		1		6	12	3	2	1	6
計	5	9	1	2	3	19	39	12	4	2	18

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1	4	2	7	4	18	11	17	15	43
女		2	2			6	10	12	16	18	46
計		3	6	2	7	10	28	23	33	33	89

問題行動 件数 校種 人数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20	
		暴力		器物損壊	恐 か つ	窃 万 引き	盗 金銭・物品 バイク自転	金銭の持ち出し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 份 ・ 不 健 全	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他						
		暴	力																				
		生 徒	対 教 師															対 人					
小 学 校	件数		1		1															13	15	28	
	男		1		1															25	27	18	
	女																			6	6	10	
中 学 校	件数																			10	10	89	
	男																			12	12	43	
	女																			6	6	46	



事象の概要

【小学校】

- ①友だちと遊んでいる際に、相手の女の子の髪の毛を1cmほど切る。
- ②友だちから注意された事に腹を立て、学校を抜け出す。
- ③コンピュータ室のいすを持ち上げて、床に落として脚を破損させる。

【学校より】…(4年男1名)
 【学校より】…(5年男2名)
 【学校より】…(6年男1名)

【中学校】

- ①髪の毛を染髪して登校する。
- ②遊びの延長から言い合いになり、お互い手がでる喧嘩に発展する。
- ③SNSに投稿した動画を別の生徒が加工しLINEのグループに流す。

【学校より】…(2年女1名)
 【学校より】…(2年男2名)
 【学校より】…(1年男2名)

12月の問題行動については、小学校では先月に比べ指導件数は減少しましたが、指導人数は同じでした。中学校においては指導件数・指導人数が大きく減少しました。小学校では、コンピュータ室のいすを持ち上げて、床に落として脚を破損させる「器物破損」や友だちから注意された事に腹を立て、学校を抜け出す等の「その他事象」も起こっています。中学校においても、遊びの延長から言い合いになり、お互い手がでる喧嘩に発展するといった「生徒間トラブル」やSNSに投稿した動画を別の生徒が加工しLINEのグループに流すといった「その他事象」が起こっています。

不登校人数について、小学校では減少し中学校では増加しました。小学5、6年生と中学校2、3年生が多い状況です。特に小学6年生においては、中学校に向けての目標や見通しが持てるような支援を、中学3年生においては、各自の進路目標を明確にし、その進路実現に向けての計画的な支援をお願いします。

また、3学期に入り、各校今年度のまとめをする時期となりました。学級、学年、学校としてやってきた実践と成果を再度確認し、その上で課題や反省について十分検討し、今年度の仕上げとなる指導と今後につながる更なる支援をお願いします。

はぐくみ

第416号

城陽市教育委員会 学校教育課

1月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和3年1月1日～1月31日)

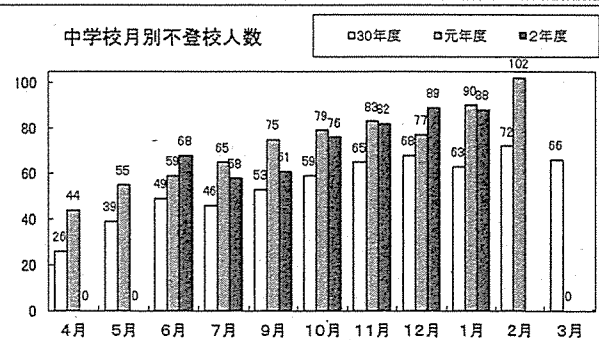
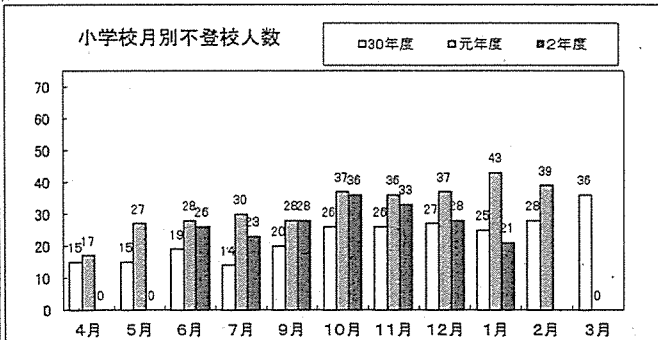
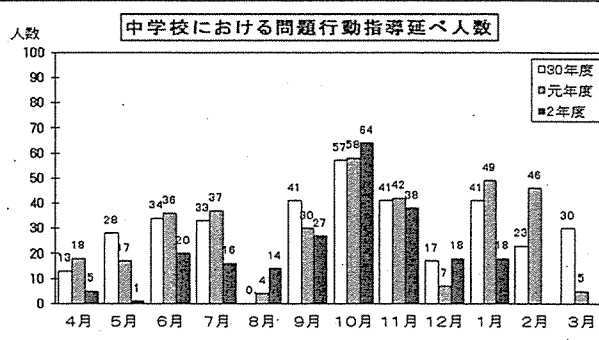
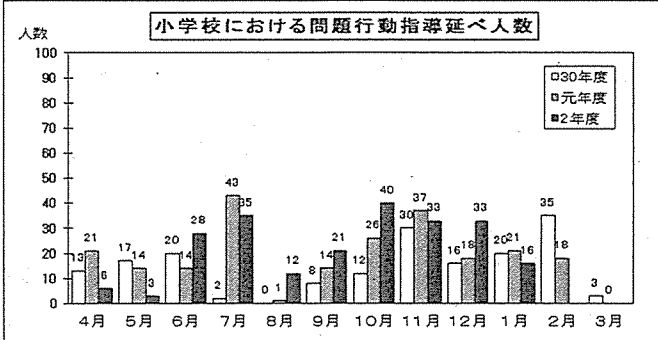
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		2	7	3		3	15	3	8	4	15
女				1		1	2	1			3
計		2	7	4		3	16	5	9	4	18

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			3	3	5	2	12	11	17	14	42
女		2				7	9	12	16	18	46
計		2	3	3	5	9	21	23	33	32	88

問題行動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
暴力																				
器物損壊																				
恐れ																				
万引き																				
金銭・物品																				
バイク自転																				
金銭の持ち出し																				
火遊び																				
喫煙																				
飲酒																				
薬物乱用																				
悪質・不健全																				
無断外泊・家出																				
わいせつな行為																				
不純異性交遊																				
その他																				
計																				
不登校																				
その他被害等																				



事象の概要

【小学校】

- ①中間休みに自分の上靴を窓に向かって投げ、窓ガラスを割る。
- ②放課後、公園で拾った石を投げ友人の額に当たる。
- ③教室の座席が隣の二人がふざけあってお互い手が出るトラブルになる。

【学校より】…(2年男1名)
 【学校より】…(2年男1名)
 【学校より】…(4年男2名)

【中学校】

- ①下校時、ちょっかいのかけ合いからトラブルになり相手を田んぼに落とす。
- ②下校時、他の生徒の下校の様子をスマホで撮影しSNSに載せる。
- ③授業中にスマホを触る。

【学校より】…(2年男2名)
 【学校より】…(2年男2名)
 【学校より】…(3年男1名)

1月の問題行動については、小学校では先月に比べ指導件数・指導人数が減少しました。教室の座席が隣の二人がふざけあい、お互い手が出て喧嘩になるといった「児童間トラブル」、また中間休みに自分の上靴を窓に向かって投げ、窓ガラスを割るといった「器物破損」事象が起きました。中学校では先月に比べ、指導人数は同じですが指導件数が増加しました。下校時に他の生徒の下校の様子をスマホで撮影しSNSに載せるといった「その他事象」や、授業中にスマホを触るといった「ルール違反」が起きました。

不登校人数については、小・中学校で減少しました。少しずつ登校できている児童生徒もおりますが、新学期を迎え、継続的になかなか登校できない児童生徒もおります。家庭との連携を密に行い、欠席児童生徒の状況を把握し、来年度に向けた見通しや目標を少しでも持てるような支援を組織的にお願いします。

年度末のこの時期は、一年間を振り返りまとめを行う大切な時期です。個人のまとめを行うとともに学級や学年のまとめをしっかり行い、本年度の成果や課題を明らかにし、次年度に繋がる目標やめあてをお互いに確認しさらに積極的な指導や支援の工夫をお願いします。

はぐくみ

第417号

城陽市教育委員会 学校教育課

2月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和3年2月1日～2月28日)

問題行動学年別指導人数

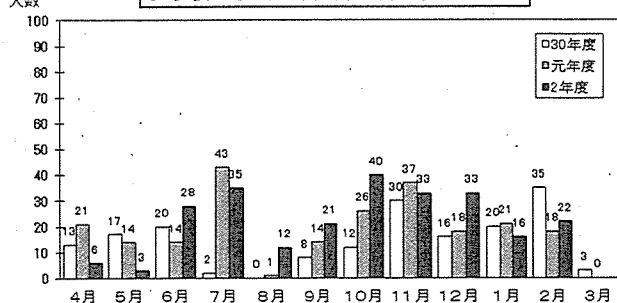
問題行動 件数 校種	人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20	
		暴力		器物損壊	恐 か つ	窃 万 引 き	盗 金 銭 ・ 物 品	盗 バ イ ク 自 転	金 銭 の 持 ち 出 し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 行 ・ 不 健 全	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他	不 登 校		そ の 他 被 害 等		
		暴	力																				
		生 徒	対 教 師																				
小学校	件数		1		1															11	13	31	
	男		1		1															14	16	20	
	女																			6	6	11	
中学校	件数		1																	15	16	88	
	男		1																	20	21	43	
	女																			4	4	45	

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	3	2	3	6	1	1	16	3	11	7	21
女	3	1			2		6	3	1		4
計	6	3	3	6	3	1	22	6	12	7	25

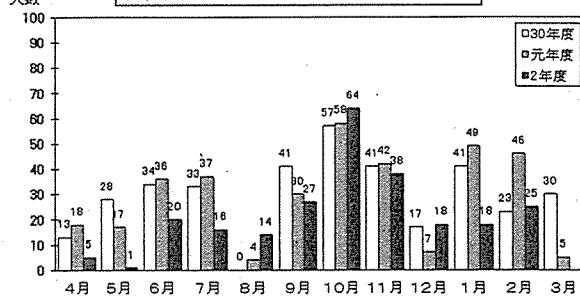
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	1	5	2	7	4	20	12	17	14	43
女		4				7	11	13	14	18	45
計	1	5	5	2	7	11	31	25	31	32	88

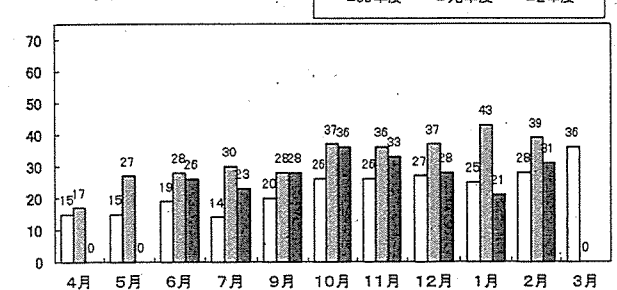
小学校における問題行動指導延べ人数



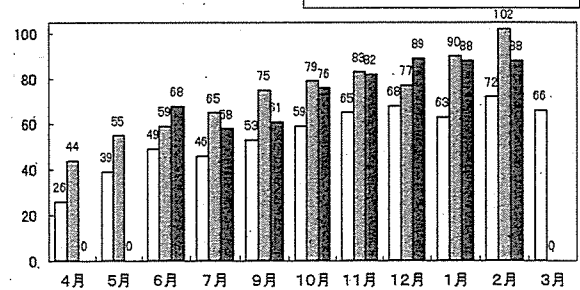
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- ①授業中に友だちとトラブルがあり、指導をしようとした教師に対して暴力を振るう。
②人から聞いた話で腹を立て、窓ガラスを叩いて割る。

【学校より】…(4年男1名)
【学校より】…(6年男1名)

【中学校】

- ①授業中、教師の指示に従わず、教師の肩を叩く。
②部活動の後輩に対して、暴力を振るう。
③体育館の裏でスマホを使い音楽を聴く。

【学校より】…(2年男1名)
【学校より】…(2年男1名)
【学校より】…(2年男1名)

2月の問題行動については、小学校では先月に比べ指導件数・指導人数が増加しました。授業中に友だちとトラブルがあり、指導をしようとした教師に対して暴力を振るうという対教師暴力事象が起きました。また、人から聞いた話で腹を立て、窓ガラスを叩いて割るといった器物破損事象も起きています。中学校においても、先月に比べ、指導件数・指導人数が増加しました。中学校では、授業中、教師の指示に従わず、教師の肩を叩くといった対教師暴力や体育館の裏でスマホを使い音楽を聴くといった等の「その他事象」が起きました。

不登校人数について、小学校では増加しており、中学校では先月と同じです。支援の継続と個々の状況を把握し、次年度への見通し、目標を持ったつながりを保護者とともによろしくお願いいたします。

各学校においては、今年度の評価や反省を生かし、新年度に向けてスムーズなスタートが切れるように十分な準備をお願いします。学級編制についても十分検討いただき、個々の児童生徒についての情報共有と支援の方法等の引き継ぎをお願いします。特に、中学校は新入生に関する小学校との連携をしっかりと進めてください。

はぐくみ

第418号

城陽市教育委員会 学校教育課

3月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和3年3月1日～3月31日)

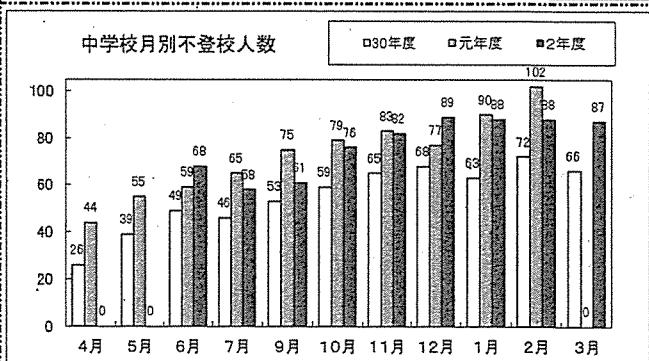
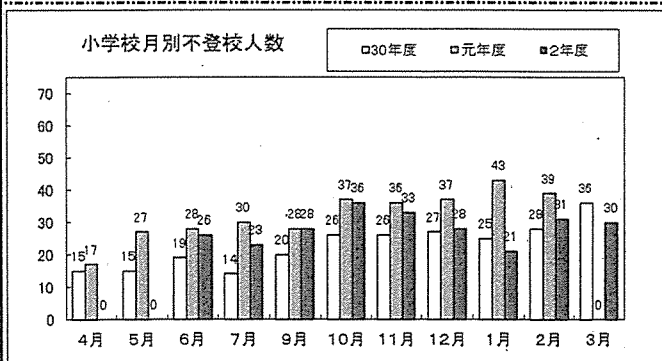
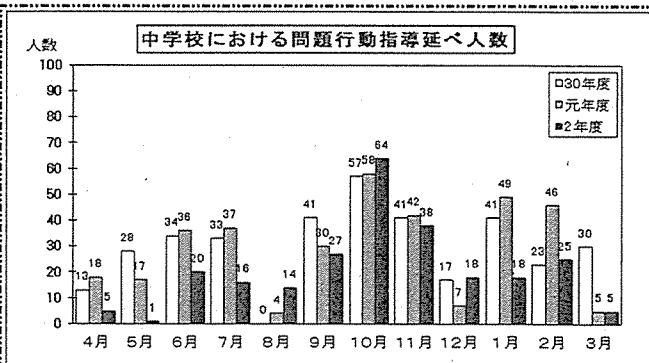
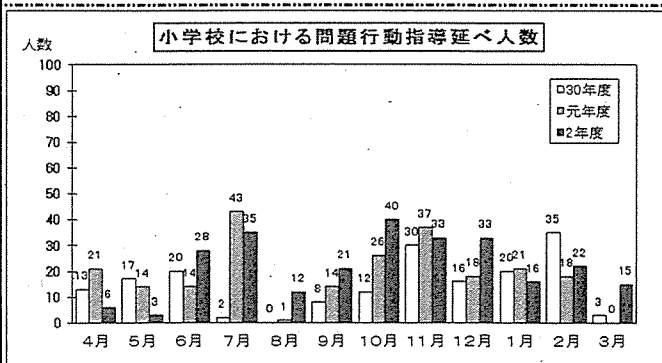
問題行動 件数 人数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20																
																						暴力		器 物 損 壊	恐 ろ 心	窃 盗 金 銭・物 品	盗 窃 金 銭・物 品	金 銭の持 ち出 し	火 災	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 な・不 健全	無 断外泊・ 家出	わいせつ な行為	不 純異性 交遊	そ の 他
																						暴	力														
																						生 徒	対 教 師 人														
小学校	件数					1												7	8	30																	
	男					1												13	14	17																	
	女																	1	1	13																	
中学校	件数																	4	4	87																	
	男																	4	4	43																	
	女																	1	1	44																	

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	3	4	3			4	14	4			4
女					1	1	1		1		1
計	3	4	3		1	4	15	4	1		5

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1		4	3	5	4	17	12	15	16	43
女		2	1	1	2	7	13	13	18	13	44
計	1	2	5	4	7	11	30	25	33	29	87



事象の概要

【小学校】

- ①放課後、コンビニでお菓子和ジュースを万引きする。
- ②下校中に近隣の施設の壁に落書きをする。

【学校より】…(1年男1名)
【学校より】…(6年男4名)

【中学校】

- ①髪の毛を紫に染めて登校する。
- ②授業中、教室を抜け出し空き教室に隠れる。

【学校より】…(2年女1名)
【学校より】…(2年女3名)

3月の問題行動について、小学校では、先月に比べ指導件数・指導人数が減少しました。落ち着いた中で学校生活を送ることができていますが、下校中に近隣の施設の壁に落書きをする等のその他事象が起きました。中学校においても、指導件数・指導人数が大きく減少しました。髪の毛を紫に染めて登校するといった規律面での「その他の事象」が起きました。

不登校人数について、先月に比べ小・中学校ともに微減しました。学年末ということで、次年度やテストに対する不安が起因しているものと考えられます。

本年度を振り返ると、小学校では指導件数・指導人数が増加、中学校では減少しました。1つ1つの事象をみると様々な要因を抱えている児童生徒が多く、個々の状況を十分理解した上で粘り強い継続的な指導が求められています。

年度が変わり、新しい学年がスタートしています。個々の児童生徒が目標をしっかり持ち、学校生活が充実する支援と指導体制をよろしくお願いします。

はぐくみ

第419号

城陽市教育委員会 学校教育課

4月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和3年4月1日～4月30日)

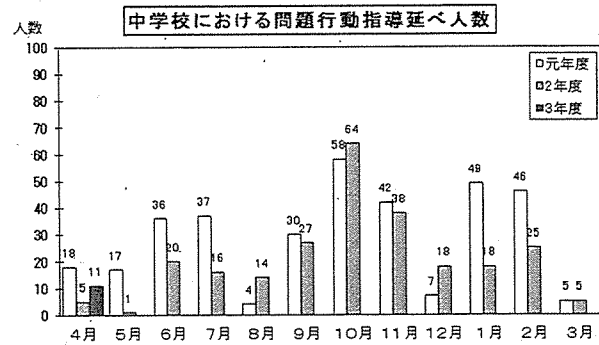
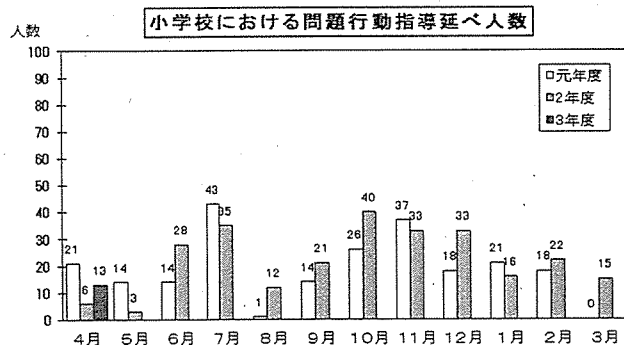
問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	暴力 生徒間	暴力 対教師	暴力 対人	器物 損壊	恐 嚇	窃 盗	盗 犯	金 銭 の 持 ち 出 し	火 災	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 な 言 動	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 渉	そ の 他	計	不 登 校	そ の 他 被 害 等
小 学 校	件数																	8	8	15
	男																	12	12	9
	女																	1	1	6
中 学 校	件数														1			7	8	55
	男																	5	5	27
	女														1			5	6	28

問題行動学年別指導人数

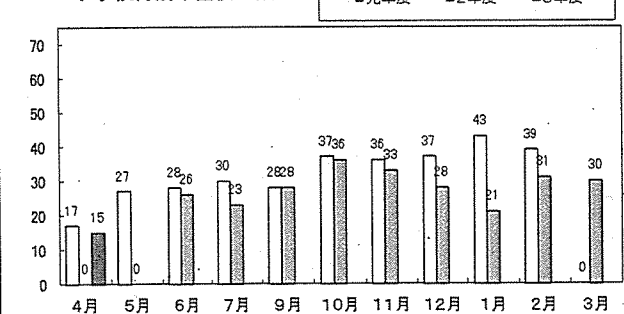
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1			9		2	12	3	2		5
女	1						1	2	4		6
計	2			9		2	13	5	6		11

不登校児童生徒学年別人数

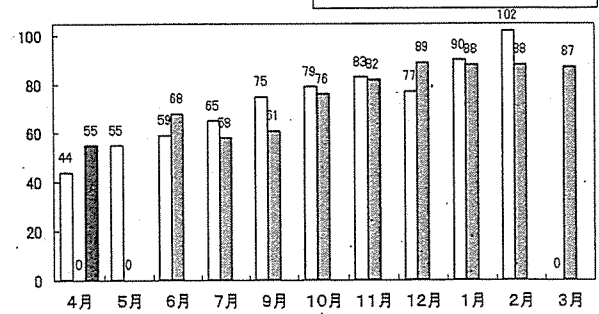
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男				3	2	4	9	4	11	12	27
女			1	1	1	3	6	3	11	14	28
計			1	4	3	7	15	7	22	26	55



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



事象の概要

【小学校】

- ①鉛筆を持ったまま友だちと遊び、相手の左目付近に鉛筆が当たる。
- ②リレーの勝敗について言い合いになり、相手の首を絞める。

【学校より】…(6年男1名)
【学校より】…(3年男1名)

【中学校】

- ①入学式に髪を染髪して登校する。
- ②勝手に京都市内の友人宅へ数日間、身を寄せる。

【学校より】…(1年男1名)
【学校より】…(1年女1名)

4月の問題行動について、小学校では、リレーの勝敗について言い合いになり、相手の首を絞めるといった暴力事象や、鉛筆を持ったまま友だちと遊び、相手の左目付近に鉛筆が当たるといった事象が起っています。中学校でも、ふざけやからかいの中からの生徒間トラブルや、染髪をして登校するといった「その他」事象が起っています。

5月に入ると例年、生徒指導上の問題事象が顕在化する傾向があります。特に些細なことからの児童生徒間トラブル等が多く起こる時でもあります。児童生徒の状況を把握し、教職員間の情報の共有を密にし、早期発見・早期対応に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

不登校については、小学6年生、中学3年生が新しい学年になり頑張って登校し、欠席日数を減らすことができていますものの、昨年度より継続的な児童生徒が多い状況です。それぞれの課題に応じて、保護者との連携と交流を深め、個々に身近な目標を定め、児童生徒が少しずつでも頑張っていけるよう、学校として組織的な対応をよろしくお願いいたします。

はぐくみ

第420号

城陽市教育委員会 学校教育課

5月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和3年5月1日～5月31日)

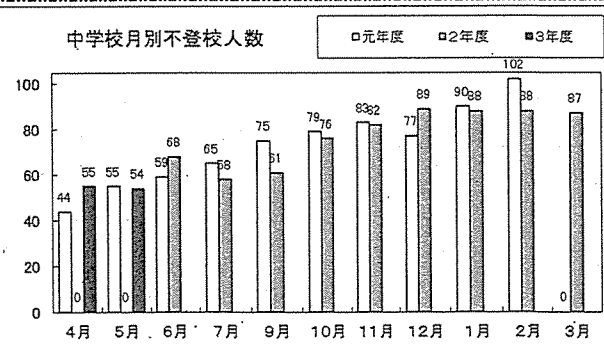
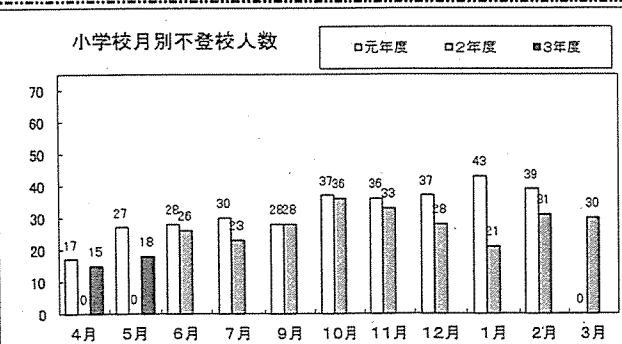
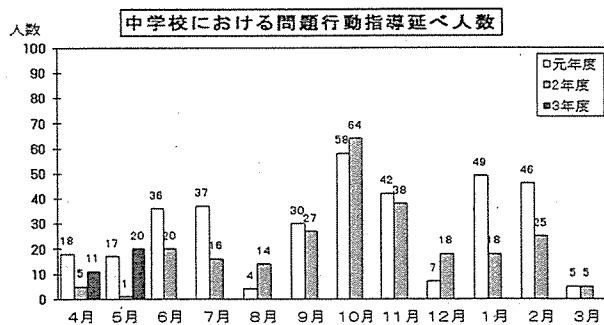
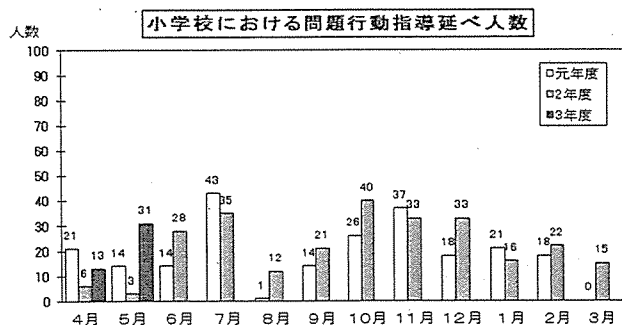
問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20																			
																						暴力			器物損壊	恐	万引き	窃盗	金銭・物品	バイク自転車	金銭の持ち出し	火遊び	喫煙	飲酒	薬物乱用	悪質・不健全	無断外泊・家出	わいせつな行為	不純異性交遊	その他の
																						生徒	対教師	対人																
小学校	件数	3																10	13	18																				
	男	3																20	23	10																				
	女																	8	8	8																				
中学校	件数	1													1	1		8	11	54																				
	男	1														7		9	17	27																				
	女														1			2	3	27																				

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	4	2	2	2	13		23	7	7	3	17
女		4			4		8	2	1		3
計	4	6	2	2	17		31	9	8	3	20

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			1	3	2	4	10	2	10	15	27
女		1	1	1	1	4	8	4	10	13	27
計		1	2	4	3	8	18	6	20	28	54



事象の概要

【小学校】

- ①複数で学校にお菓子を持ち込み校内で食べる。
- ②放課後、公園の土管に落書きをする。
- ③じゃれ合いがエスカレートし、お互い手が出る喧嘩に発展する。

【学校より】…(2年女4名)
 【学校より】…(3年男1名)
 【学校より】…(5年男2名)

【中学校】

- ①ゴールデンウィーク明けに、ピアスを付けて登校する。
- ②校内のタブレットをケースから外し、自宅へ持ち帰り使用する。
- ③部活動の練習中、自分のプレーをからかうような発言を受け相手を蹴る。

【学校より】…(2年女2名)
 【学校より】…(1年女1名)
 【学校より】…(3年男1名)

5月の問題行動について、小学校では、放課後、公園の土管に落書きをするといった「校外迷惑行為」や些細なことからの「児童間トラブル」が起きました。中学校では、ゴールデンウィーク明けに、ピアスを付けて登校するといった「ルール違反」や生徒同士の「生徒間トラブル」がありました。例年5月・6月は学校、学級にも慣れ、問題事象が大きく増える傾向があります。児童生徒の状況を的確に把握し、教職員間で情報を共有し、学校組織全体で共通理解を図った上での指導と支援をよろしくお願い致します。

不登校については、小・中学校で4月に比べて小学校では増加し、中学校では減少しています。長いゴールデンウィークがあり、梅雨に入り、またこれから暑い日も多くなり、新学期から緊張感をもって頑張ってきたところで少し疲れも出てくる頃でもあります。本人と保護者とともに見通しをもった目標をいっしょに考え、本人が頑張ろうと意欲をもてるよう支援をよろしくお願い致します。

個々の児童生徒が目標をしっかり持ち、学校生活を充実させることができるような支援と指導体制の準備をよろしくお願い致します。

はぐくみ

第421号

城陽市教育委員会 学校教育課

6月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和3年6月1日～6月30日)

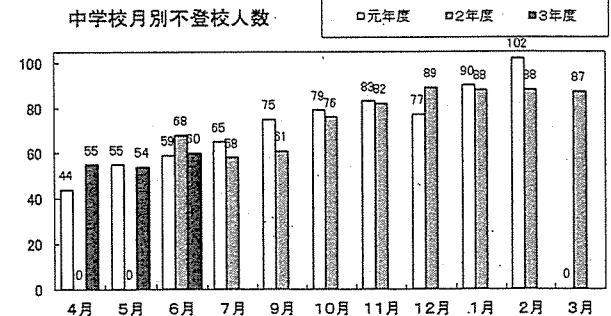
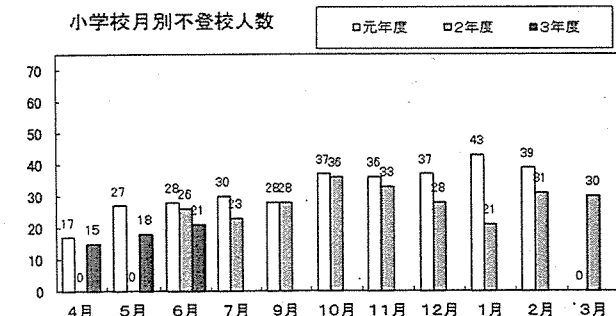
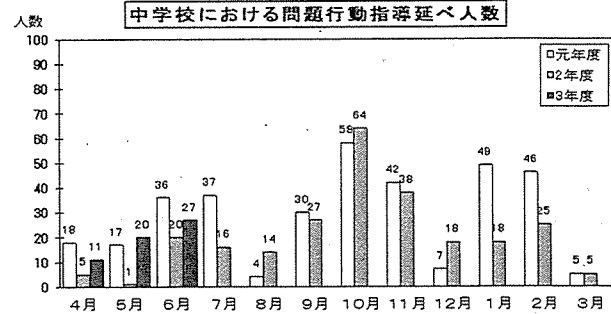
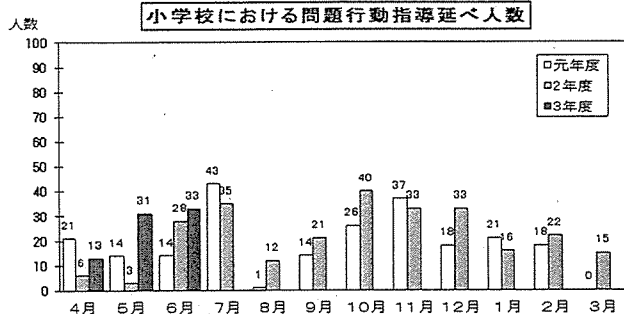
問題行動 件数 人数 校種	問題行動																		計	19	20
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		19	20
	暴力			器 物 損 壊	恐 ろ か つ	窃 盗 万 引 き	盗 金 銭 ・ 物 品	金 銭 の 持 ち 出 し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 ・ 不 健 全	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他	不 登 校		そ の 他 被 害 等	
	生 徒 間	対 教 師	対 人																		
小 学 校	件数	1		2					1									16	20	21	
	男	1		2					2									23	28	12	
	女																	5	5	9	
中 学 校	件数	1					1											15	17	60	
	男	1					1											22	24	32	
	女																	3	3	28	

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	4	9	2	3	3	7	28	19	5		24
女	1		2		1	1	5	1	2		3
計	5	9	4	3	4	8	33	20	7		27

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男				2	2	8	12	5	13	14	32
女			1	1	2	5	9	4	10	14	28
計			1	3	4	13	21	9	23	28	60



事象の概要

【小学校】

- ①大型商業施設に行き、友だちの3,000円をゲームセンターで使う。
- ②休み時間に生活科で育てていたミニトマトを盗る。

【学校より】…(2年3年男2名)
【学校より】…(2年男1名)

【中学校】

- ①週末、校区の小学校へ行き、遊んでいた小学生の動画を撮り、勝手にLINEに流す。
- ②下校途中に小学生が拾った現金を「自分の物だ」と言い、持ち去る。
- ③相手にちょっかいをかけ、やり返してきた事に腹を立て相手を殴る。

【学校より】…(1年男1名)
【学校より】…(1年男1名)
【学校より】…(1年男1名)

6月の問題行動について、昨年度に比べ小学校・中学校ともに増加しています。大型商業施設に行き、友だちの3,000円をゲームセンターで使うといった「金銭の持ち出し」事象や、自分の思い通りにいかないことに腹を立てて相手を叩くといった「児童間トラブル」等の問題事象が起きました。中学校においては、相手にちょっかいをかけ、やり返してきた事に腹を立て相手を殴るという「生徒間暴力」事象や、「その他」事象として、週末校区の小学校へ行き、遊んでいた小学生の動画を撮り、勝手にLINEに流すといった事象が起きました。特に中学1年生の事象が多く起きました。普段からの人間関係や心身の状態等を丁寧に見ていく必要があります。

不登校については、昨年度の6月に比べ、小学校・中学校ともに減少しましたが、中学3年生においては、昨年度より不登校傾向があった生徒が本年度も欠席が多い状況です。少しでも学校へ登校する意欲が湧くよう、保護者と連携・交流を密にとりながら励ましや支援をよろしくお願いします。

一学期も終わります。児童生徒が今学期の自分自身を振り返り、頑張れたことやできたこと、そして課題についてもしっかり考え、夏休みを有意義に過ごせるように指導・支援をよろしくお願いします。また、児童生徒が事件・事故に巻き込まれることがないように、再度安全指導についてもよろしくお願いします。

はぐくみ

第422号

城陽市教育委員会 学校教育課

7月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和3年7月1日～7月31日)

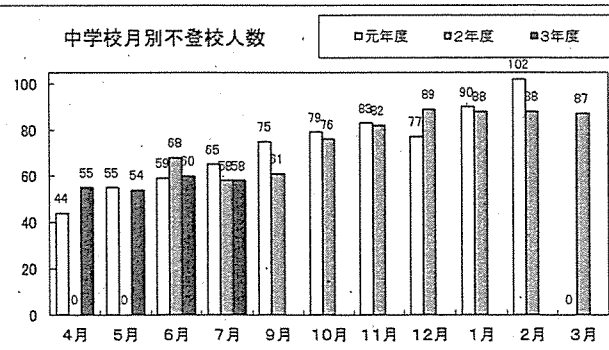
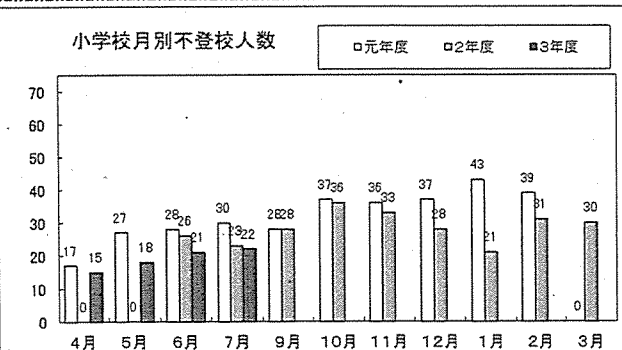
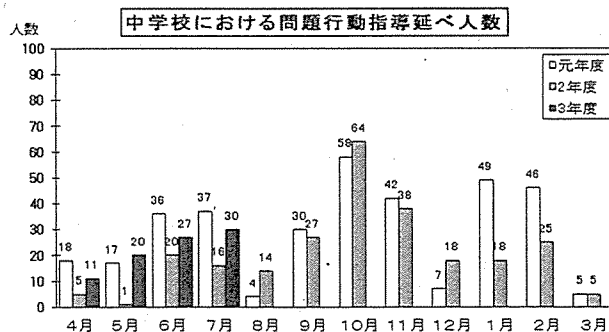
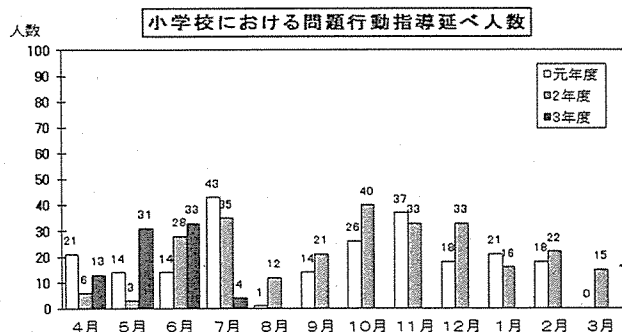
問題行動 件数 校種	1 暴力 生徒 対教師 対人	2 器物 損壊	3 器物 損壊	4 器物 損壊	5 器物 損壊	6 窃盗 万引き	7 盗 金銭・物品	8 盗 バイク・自転車	9 金銭の 持ち出し	10 火 遊び	11 喫 煙	12 飲 酒	13 薬 物乱用	14 悪質 ・不健全	15 無断外泊・家出	16 わいせつな行為	17 不純異性交遊	18 その他	19 不登校	20 その他 被害等
小 学 校	件数			2														2	4	22
	男			2														2	4	12
	女																			10
中 学 校	件数	2																16	18	58
	男	2																17	19	30
	女																	11	11	28

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	2		1			1	4	14	5		19
女							0		10	1	11
計	2		1			1	4	14	15	1	30

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1	1	3	2	5	12	5	10	15	30
女		1	1	1	2	5	10	4	11	13	28
計		2	2	4	4	10	22	9	21	28	58



事象の概要

【小学校】

- ①学校にスマホを持ち込んだ事を指導され、腹を立てガラスドアを蹴って割る。
- ②授業中、課題が出来ず苛立ち、窓ガラスをパンチし割る。

【学校より】…(6年男1名)
【学校より】…(3年男1名)

【中学校】

- ③体育の授業中、バレーボールを素直に渡さなかった相手に対して暴力を振るう。
- ④スマホとタバコを所持して登校する。

【学校より】…(1年男1名)
【学校より】…(2年女1名)

7月の問題行動については、小学校では、6月に比べ指導件数・人数ともに減少しました。小学校で学校にスマホを持ち込んだ事を指導され、腹を立てガラスドアを蹴って割るといった「器物破損」事象が起きました。中学校においては、指導件数・人数とも先月より増加しています。体育の授業中、バレーボールを素直に渡さなかった相手に対して、暴力を振るうといった「暴力事象」が起きました。また、スマホの持ち込みや髪の毛を染めて登校する等の「その他事象」も多く起きました。

不登校については、小学校では増加し、中学校では減少しています。昨年度の同時期に比べるとほぼ同じ人数です。今後も保護者と連携し個々への支援をよろしくお願いいたします。

各校においては、研修会や各部会、チーム会議等で、1学期の振り返りとまとめをしっかりと行い、2学期以降の指導方針を再度確認し、個々の児童生徒に対する指導と支援の手立てを明確にしてください。そして、学校全体で共通理解が図られた方針に基づき、「チーム学校」として組織的な対応が図られますようよろしくお願いいたします。

参考資料

8月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和3年8月1日～8月31日）

問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	暴力		対物損壊	器物損壊	恐	万引き	金銭・物品	盗	金銭の持ち出し	火遊び	喫煙	飲酒	薬物乱用	悪質・不健全	無断外泊・家出	わいせつな行為	不純異性交遊	その他	不登校	その他被害等
	生徒	教師																		
小	件数																	1	1	
学	男																	1	1	
校	女																			
中	件数					1	2											5	8	
学	男																			
校	女					1	2											5	8	

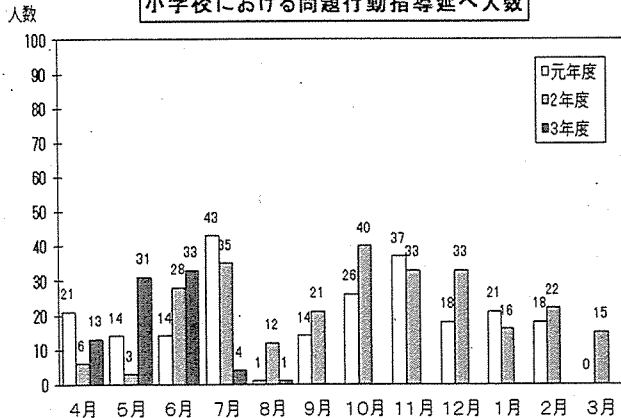
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男					1		1				
女								7		1	8
計					1		1	7		1	8

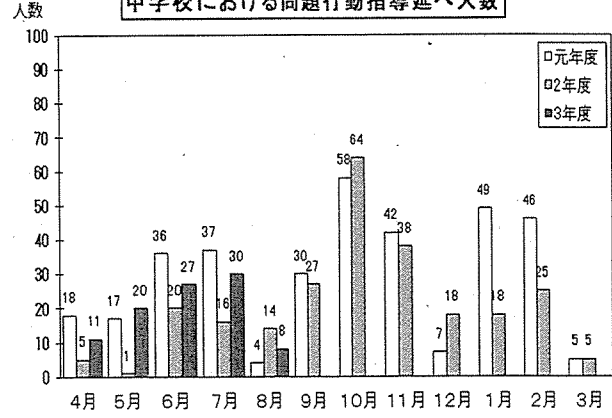
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男											
女											
計											

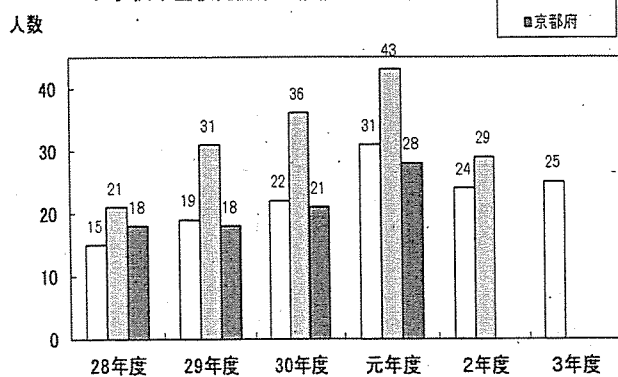
小学校における問題行動指導延べ人数



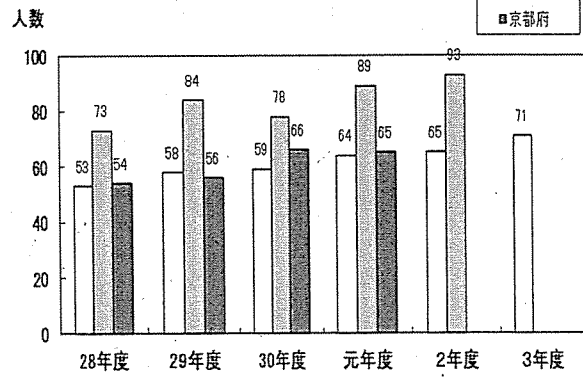
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校不登校児童数の推移<1学期末>



中学校不登校生徒数の推移<1学期末>



※ 京都府の数値については、京都府の不登校児童生徒の発生率を城陽市の児童生徒数の割合で表したものである。

※はぐくみ423号より抜粋

参考資料

9月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和3年9月1日～9月30日)

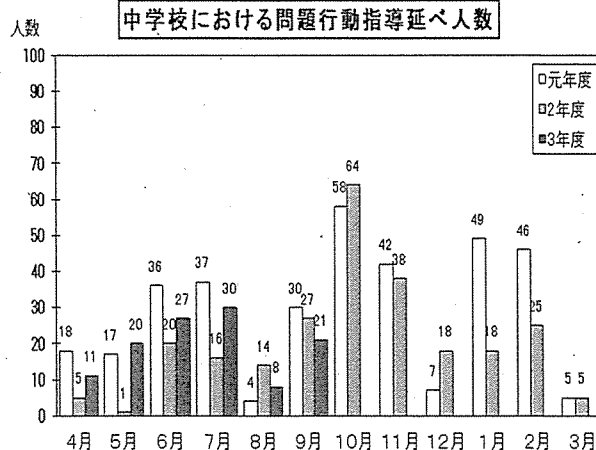
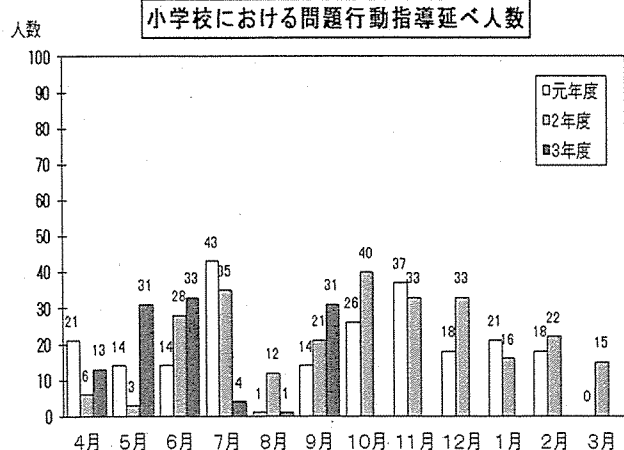
問題行動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	暴力	対生	対教	器物	恐	窃	盗	金	火	喫	飲	薬	悪	無	わ	不	そ	計	不	その他
件数	1	4	2				1											14	21	
延べ人数	1	4	2				1											22	13	
男	1	4	2				1											22	13	
女																		1	8	
中																		11	75	
学																		18	37	
男																		18	37	
女																		3	38	

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	15	2		2	7	4	30	9	8	1	18
女				1			1		2	1	3
計	15	2		3	7	4	31	9	10	2	21

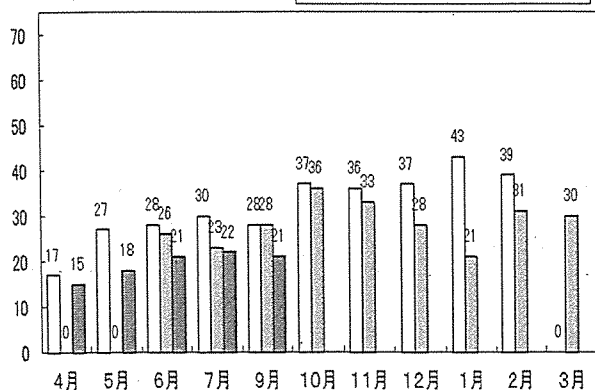
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1	2	3	2	5	13	10	12	15	37
女		1	2		1	4	8	6	16	16	38
計		2	4	3	3	9	21	16	28	31	75



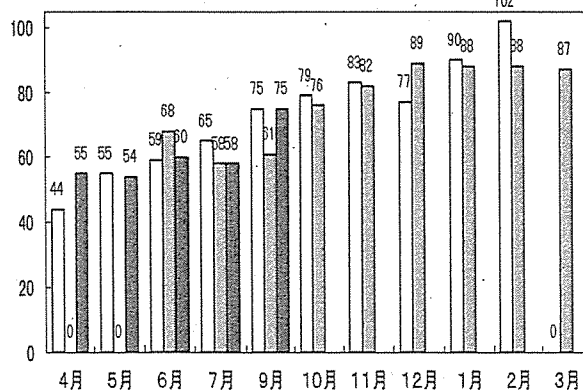
小学校月別不登校人数

元年度 2年度 3年度



中学校月別不登校人数

元年度 2年度 3年度



※はぐくみ424号より抜粋

参考資料

10月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和3年10月1日～10月31日）

問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
問題行動	暴力	対人	対物	器物	恐	窃	盗	金	火	喫	飲	薬	悪	無	わ	不	そ	計	不	そ
生徒	間	教	人	損	か	万	金	バ	の	煙	酒	用	質	断	い	純	の	計	登	他
人数	間	師	人	壊	つ	引	銭	イク	持ち	び			乱	外	せ	異	他		校	等
小	5			1			1							1				15	23	26
学	5			1														17	23	14
校							1						1				4	6	12	
中																		15	15	74
学																		18	18	38
校																	9	9	36	

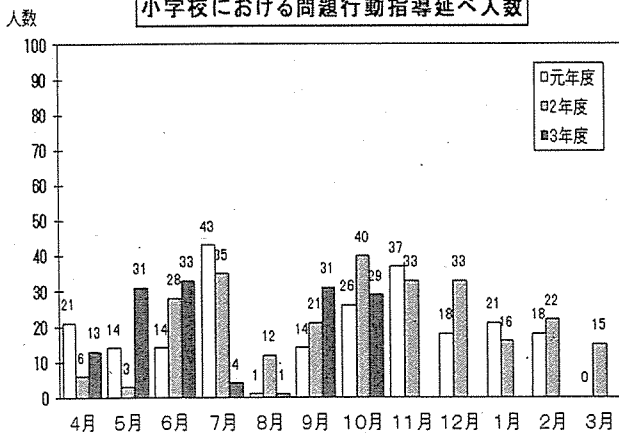
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	8	1	2	2	4	6	23	6	9	3	18
女				4	2	6	12	2	7		9
計	8	1	2	6	6	12	35	8	16	3	27

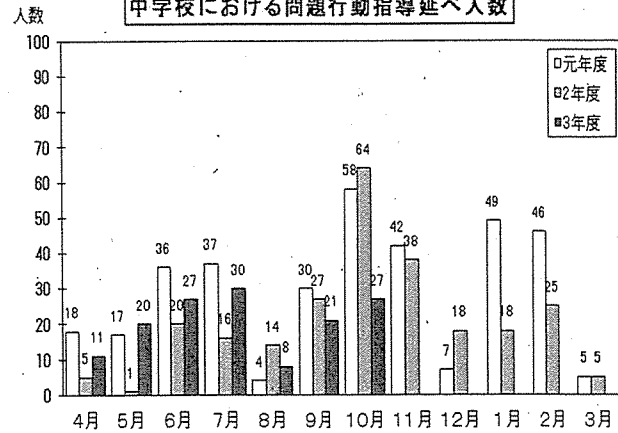
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		2	2	3	2	5	14	9	16	13	38
女		1	2	2	4	3	12	7	13	16	36
計		3	4	5	6	8	26	16	29	29	74

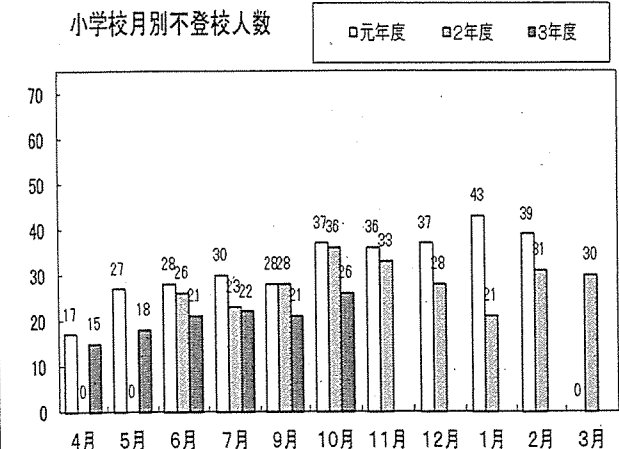
小学校における問題行動指導延べ人数



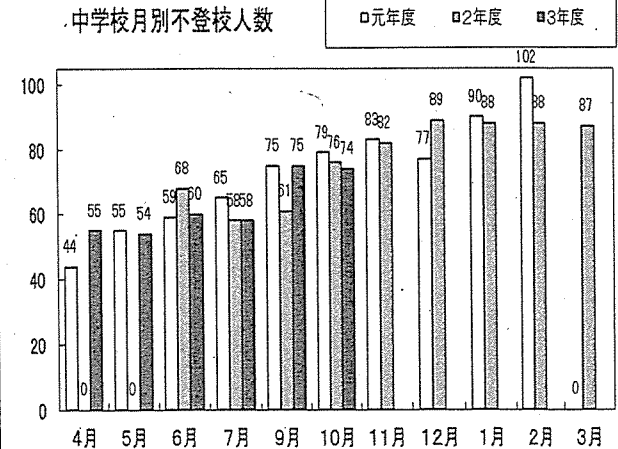
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



※はぐくみ425号より抜粋

参考資料

1 1月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和3年11月1日～11月30日)

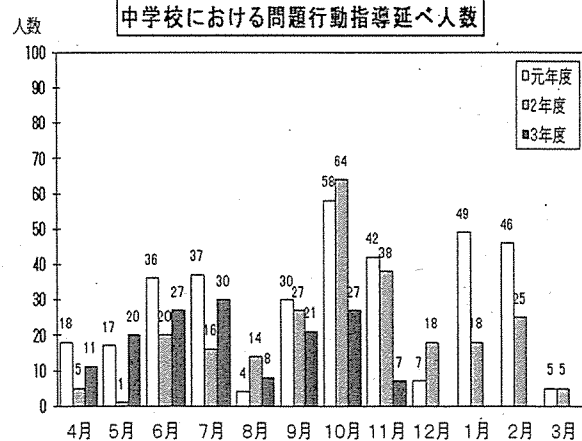
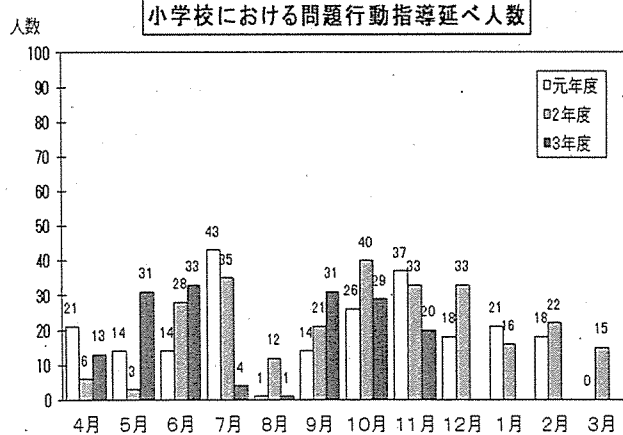
問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20
	暴力			器 物 損 壊	恐 ろ 心	窃盗		金 銭 の 持 ち 出 し	火 災	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 な 行 為	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ な 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他				
	生 徒 間	対 教 師	対 人			万 引 き	金 銭 ・ 物 品											バ イ ク 自 転			
小 学 校	件数	2		1														9	12	24	
	男	2		1														17	20	12	
	女																			12	
中 学 校	件数			1														6	7	82	
	男																	3	3	39	
	女			1														3	4	43	

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	4		1		4	11	20	2	1		3
女								3		1	4
計	4		1		4	11	20	5	1	1	7

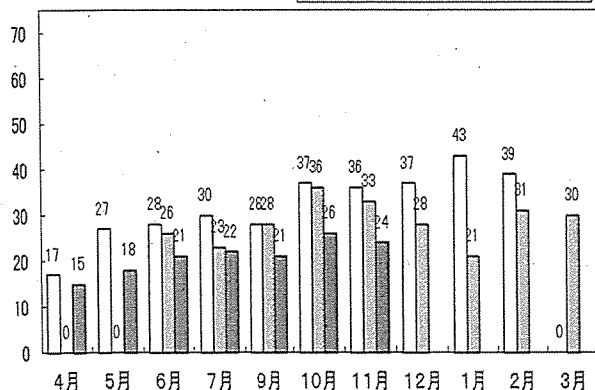
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男				4	3	5	12	9	16	14	39
女		1	1	2	2	6	12	8	17	18	43
計		1	1	6	5	11	24	17	33	32	82



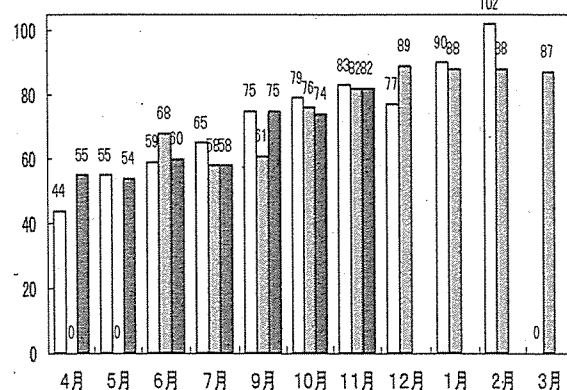
小学校月別不登校人数

元年度 2年度 3年度



中学校月別不登校人数

元年度 2年度 3年度



※はぐくみ426号より抜粋

参考資料

1 2 月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数 (令和3年12月1日～12月31日)

問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20																		
																						暴力			器 物 損 壊	恐 か つ	窃盗		金 銭 の 持 ち 出 し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 交 往 ・ 不 健 全	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他	
																						生 徒	対 教 師	対 人			万 引 き	金 銭 ・ 物 品											バ イ ク 自 転

小 学 校	件数	5	3				1											12	21	22	
	男	5	3				6											28	42	13	
	女																	4	4	9	
中 学 校	件数		1															1	2	80	
	男																	2	2	39	
	女		1																1	41	

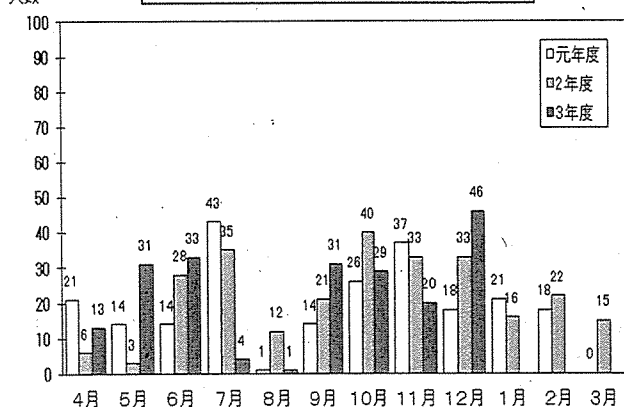
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	10	4	1	16	5	6	42	2			2
女				3		1	4	1			1
計	10	4	1	19	5	7	46	3			3

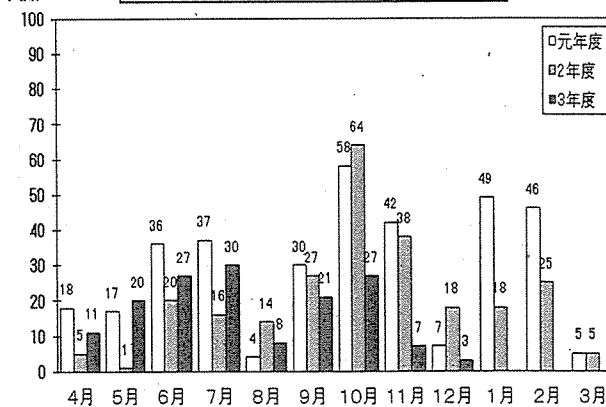
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			2	4	2	5	13	11	13	15	39
女		1	1	2	1	4	9	8	17	16	41
計		1	3	6	3	9	22	19	30	31	80

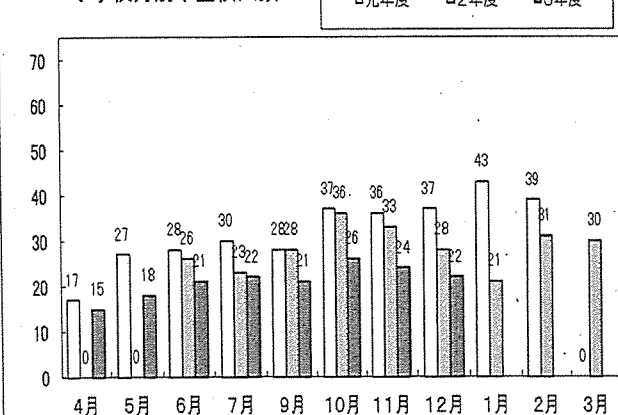
人数 小学校における問題行動指導延べ人数



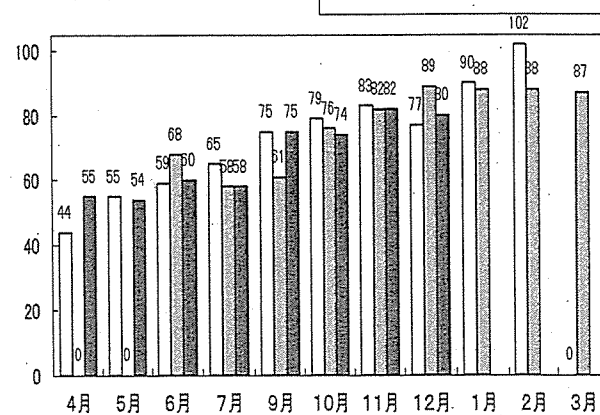
人数 中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



※はぐくみ427号より抜粋

参考資料

1 月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数 (令和4年1月1日～1月31日)

問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20	
	暴力			器物損壊	恐	窃盗			金銭の持ち出し	火遊び	喫煙	飲酒	薬物乱用	悪質・不健全	無断外泊・家出	わいせつな行為	不純異性交遊	その他の		不登校	その他被害等	
	生徒	対教師	対人			万引き	金銭・物品	バイク自転														
小	件数	1																4	5	27		
学	男		1																9	10	15	
	女																		1	1	12	
中	件数																		4	4	87	
学	男																		2	2	41	
	女																		2	2	46	

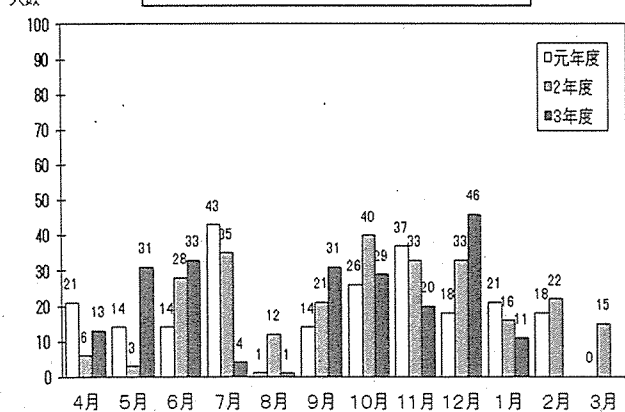
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	3					7	10	1		1	2
女	1					1		2			2
計	4					7	11	1	2	1	4

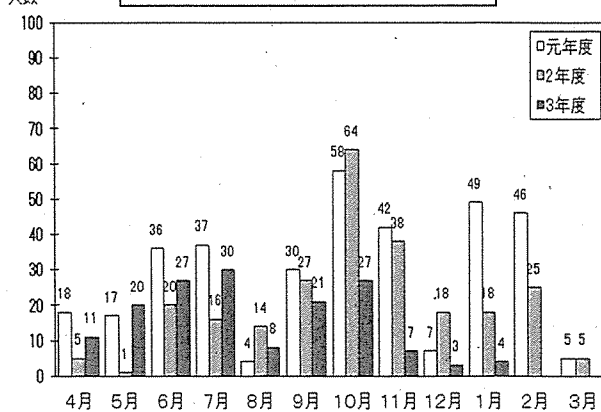
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			1	5	2	7	15	11	15	15	41
女		1	2	2	2	5	12	9	21	16	46
計		1	3	7	4	12	27	20	36	31	87

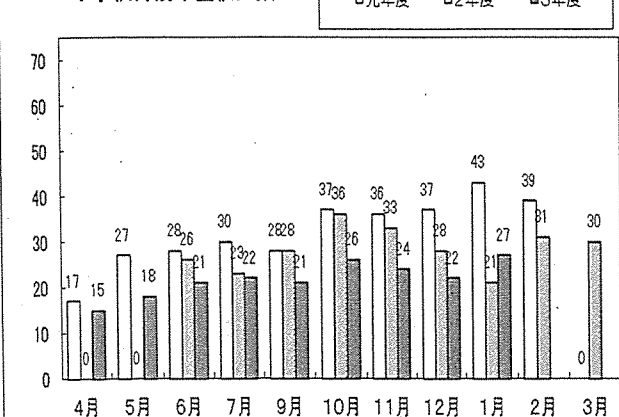
小学校における問題行動指導延べ人数



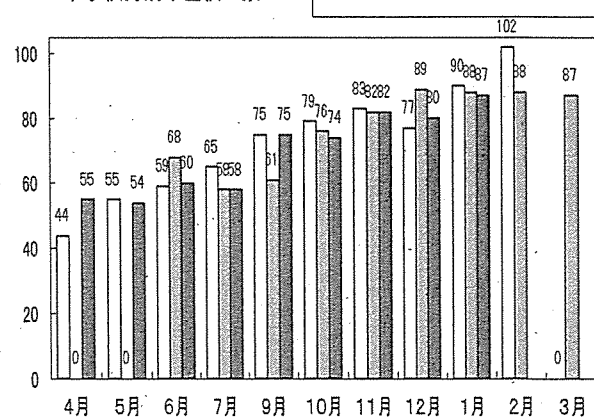
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



※はぐくみ428号より抜粋

参考資料

2月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数(令和4年2月1日～2月28日)

問題行動 件数 校種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
小	3	1		2		1		1										13	21	26
学	3	1		2		1												20	27	12
校									1									1	14	
中	1																	10	11	86
学	1																	12	13	39
校																		3	3	47

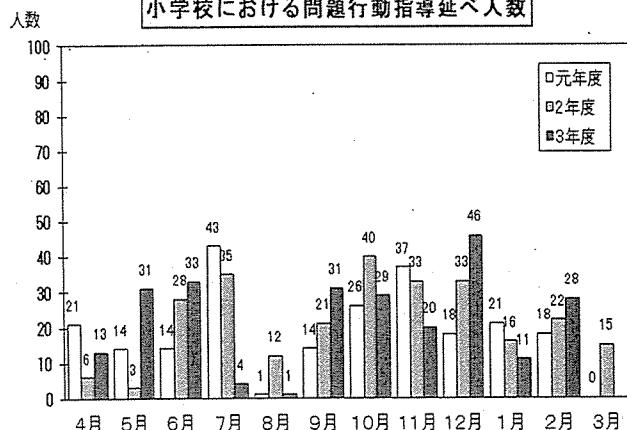
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	7	2	3	1	5	9	27	8	4	1	13
女						1	1		3		3
計	7	2	3	1	5	10	28	8	7	1	16

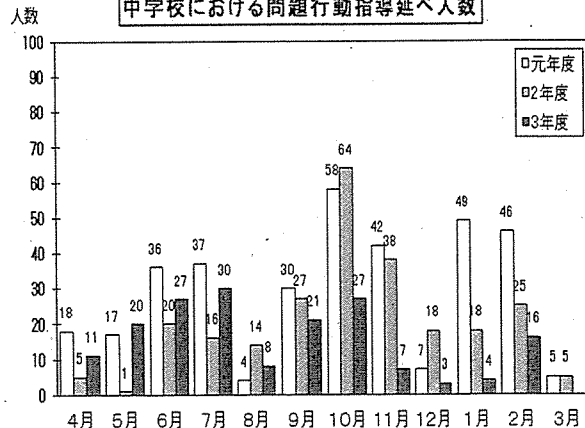
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			2	1	2	7	12	11	14	14	39
女		1	3	1	3	6	14	10	18	19	47
計		1	5	2	5	13	26	21	32	33	86

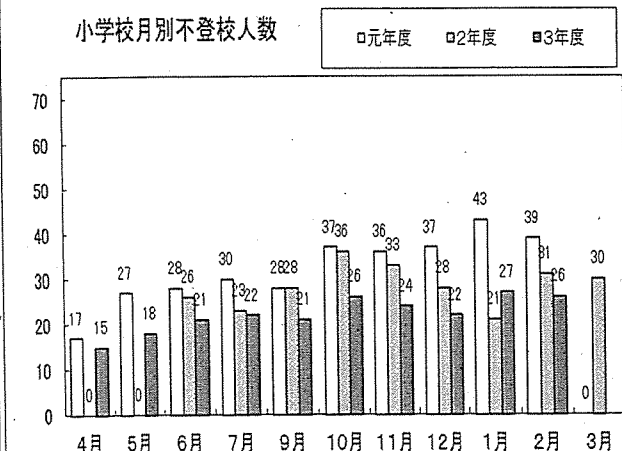
小学校における問題行動指導延べ人数



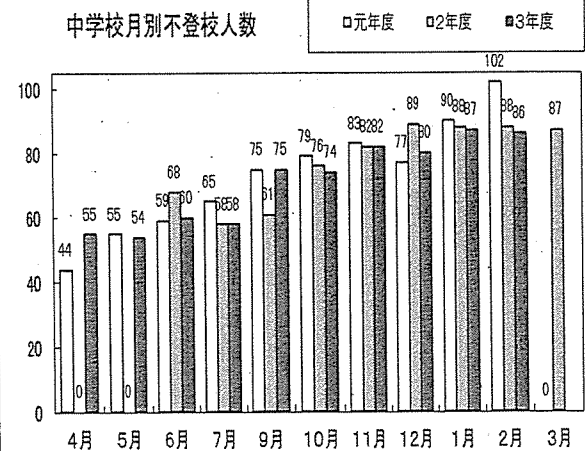
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



※はぐくみ429号より抜粋

参考資料

3月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和4年3月1日～3月31日）

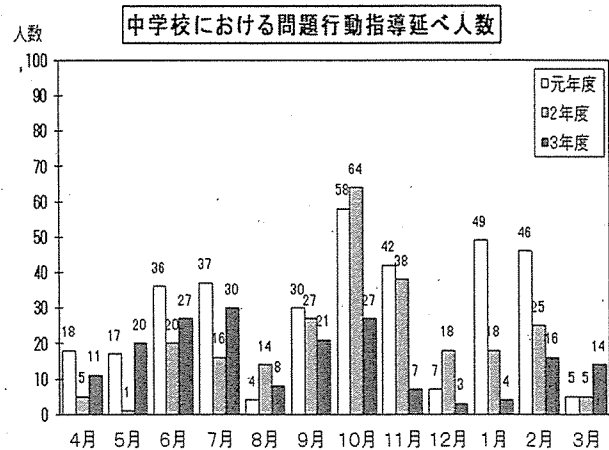
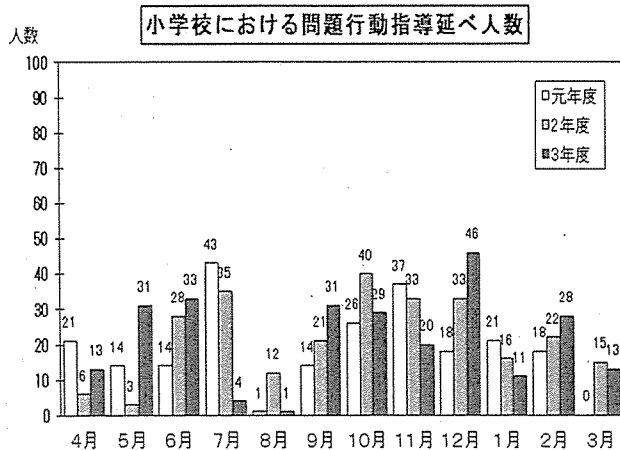
問題行動 件数 校人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	19	20
	暴力			器物損壊	恐ろしい	窃盗	盗	金銭の持ち出し	火遊び	喫煙	飲酒	薬物乱用	悪質行為・不健全	無断外泊・家出	わいせつな行為	不純異性交遊	その他の	不登校		その他被害等	
	生徒間	対教師	対人																		
小	件数	1	2		1														7		11
学	男	1	2		1														9	13	15
校	女																				11
中	件数																		6	6	83
学	男																		9	9	39
校	女																		5	5	44

問題行動学年別指導人数

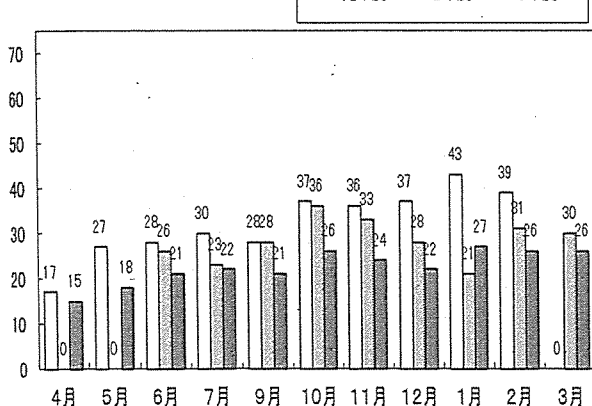
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	6	1			5	1	13	6	1	2	9
女								5			5
計	6	1			5	1	13	11	1	2	14

不登校児童生徒学年別人数

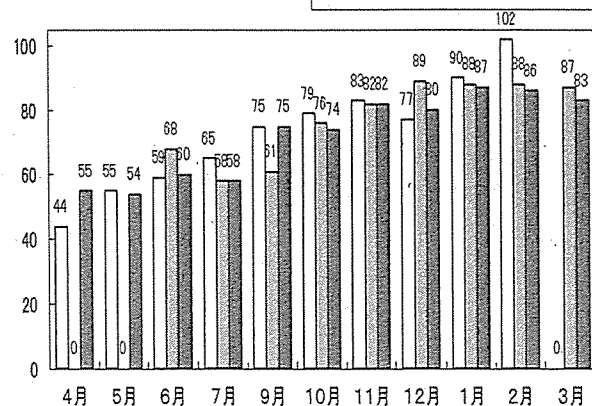
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1		1	4	3	6	15	11	14	14	39
女		1	1	2	2	5	11	11	19	14	44
計	1	1	2	6	5	11	26	22	33	28	83



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



※はぐくみ430号より抜粋